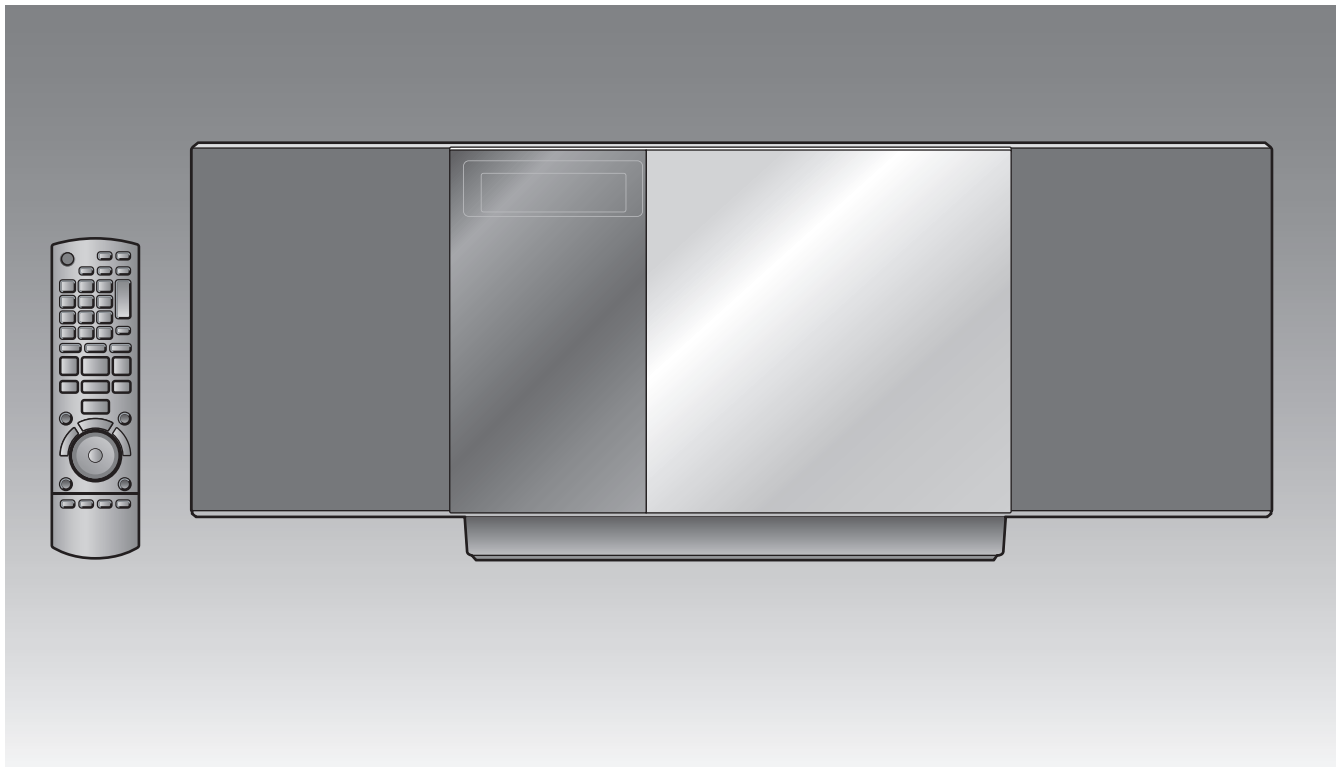
Panasonic®

取扱説明書

コンパクトステレオシステム

品番 SC-HC4

困ったときは？ ▶

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いいたします。
ホームページでご愛用者登録ができます。

詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（41 ～ 43 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

RQT9427-2S

もくじ

準　備

聴　く

音楽を楽しもう!
SD
CD
ラジオ

iPod

iPod を高音質で
楽しめる！

録　る

SDに好みの音楽を録音!
SD
CD　ラジオ　iPod

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（☞ 41 ～ 43 ページ）

編　集

タイマー

めざましの代わりに…
おめざめタイマー
ラジオ番組をタイマーで録音
留守録タイマー
REC
12 : 00
それぞれ最大 3 つまで設定できます。

使いこなす

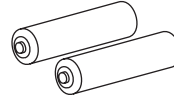
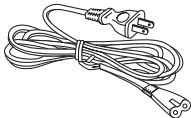
必要なとき

付属品／リモコンの準備

付属品を確認してください

□ FM 簡易型アンテナ（1 本）
【RSAX0003】

□ リモコン（1 コ）
【N2QAYB000386】

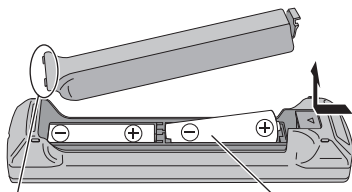
□ AM ループアンテナ（1 本）
【N1DAAAA00002】

□ リモコン用乾電池
（単 3 形、2 本）

□ 電源コード（1 本）
【K2CA2CA00019】

(お知らせ)

- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- カッコ【　】内は、2009年1月現在の品番です。品番は変更されることがあります。

付属品と別売品（☞ 36 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
CLUB Panasonic Pana Sense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

リモコンの使いかた

■乾電池（付属）の入れかた

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■リモコンの使用範囲

リモコン受信部
30° 30°
正面で約7 m 以内
送信部

■使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき

リモコンモードを変更してください。（☞ 35 ページ「リモコンモードを変更する」）

アンテナの接続と本機の置きかた

1 FM 簡易型アンテナを接続する

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 15 ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

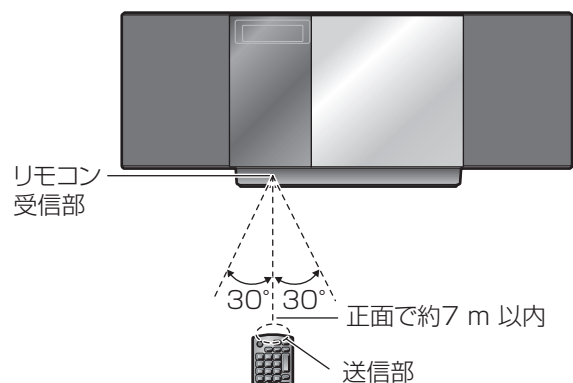
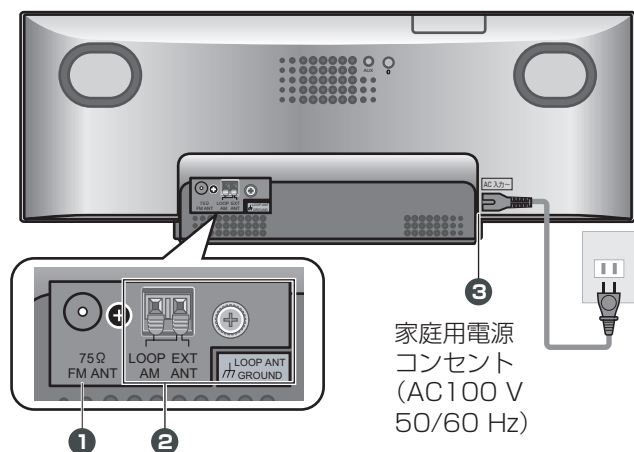
2 AM ループアンテナを接続する

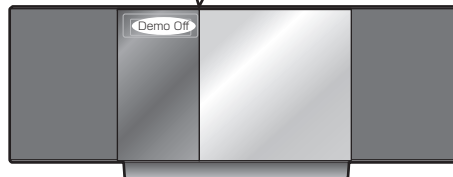
つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 15 ページ）雑音の少ない位置に置きます。

3 電源コードを接続する

電源コードは最後に接続します。

■電源コードを抜くときは

① ［電源 ⏻/I］を押して電源を切る
②「Goodbye!」の表示が消えてから電源コードを抜く

デモ機能について

デモ機能とは、電源コードを接続すると約 10 秒後に表示部が点灯し、本機のかんたんな機能説明がスクロール表示される機能です。

（お知らせ）
- 本機の時計を合わせる（☞ 30 ページ）とデモ機能は自動的に動作しなくなります。
- リモコンでも操作できます。（☞ 35 ページ「デモ機能を入 / 切する」）

■よりよい音響効果を得るために

音は置きかたによって変わります。
例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。
- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また周りの反射をできるだけ少なくする。
  例）左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛ける。
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する。

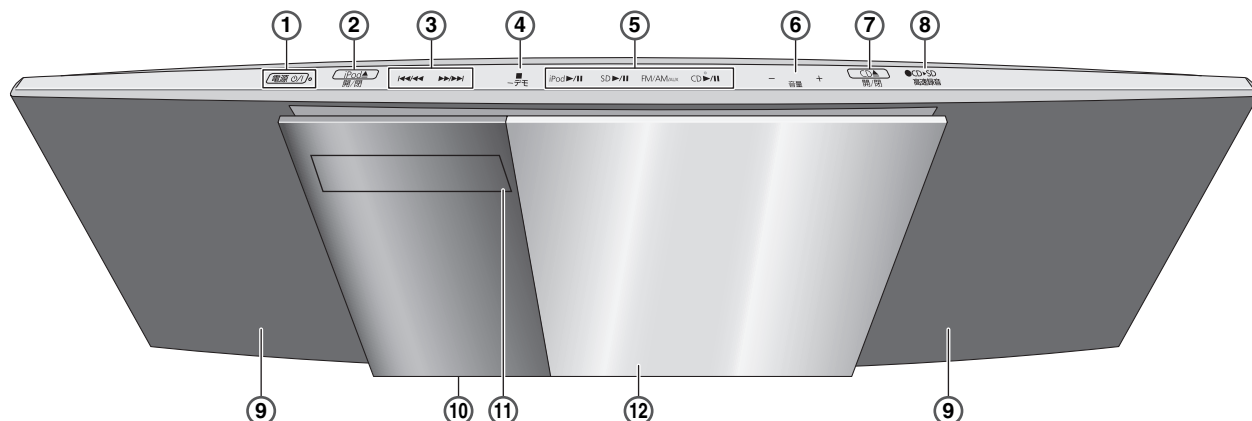
お願い
- スピーカーは防磁設計ではありません。
  テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。
  スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）
  - 音がひずんだとき
  - 音質を調整するとき

（お知らせ）
- スピーカーネットは取り外しができません。

本機を移動するときは

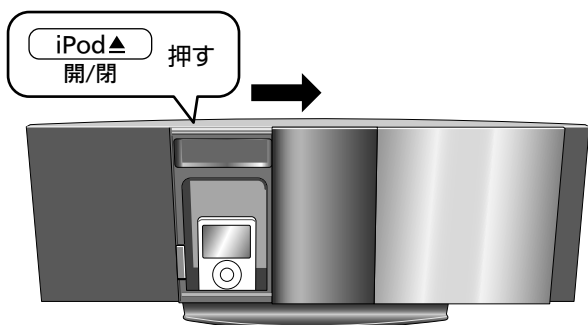
①CD/SD カード /iPod を取り出す
②［電源 ⏻/I］を押して電源を切る
③「Goodbye!」の表示が消えてから電源プラグを抜く
- 上記操作を行わないと、故障の原因になることがあります。

各部のはたらき

本体

	なまえやはたらき	参照ページ
①	電源を入 / 切する	—
	電源ランプ 電源「入」時：点灯 電源「切」（スタンバイ）時：消灯	—
②	iPod 側の電動スライドドアを開 / 閉する	下記
③	スキップする／サーチする	10, 12, 18
④	停止する／デモ機能を入 / 切する	5, 10, 12
⑤	iPod/SD/CD に切り換えて再生する／iPod/SD/CD を一時停止する／FM/AM/AUX に切り換える	10, 12, 15, 17, 18

	なまえやはたらき	参照ページ
⑥	音量を調節する	—
⑦	CD 側の電動スライドドアを開 / 閉する	下記
⑧	CD を高速録音（SD ヘイッキ録り）する	22
⑨	スピーカー部	5
⑩	リモコン受信部	4
⑪	表示部	7
⑫	電動スライドドア	下記

電動スライドドアの開 / 閉について

■iPod 側の電動スライドドアを開けるには

電動スライドドアを閉めるには、もう一度［iPod ▲開 / 閉］を押します。

●iPod を接続するには「iPod を本機に接続する」（☞ 18 ページ）

■CD 側の電動スライドドアを開けるには

電動スライドドアを閉めるには、もう一度［CD ▲開 / 閉］を押します。

●CD を入れるには「CD を聴く」の手順 ❷（☞ 10 ページ）

お願い

●電動スライドドアを手で開 / 閉しないでください。

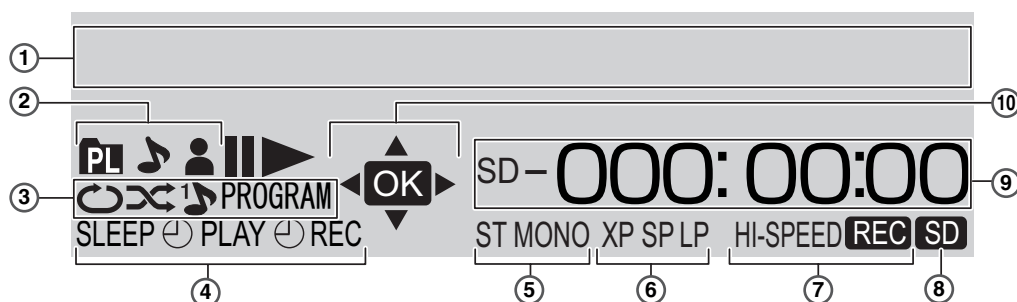
●電動スライドドアを開 / 閉するときに、手などを挟む恐れがありますので、電動スライドドア付近に手を置かないようにしてください。

お知らせ

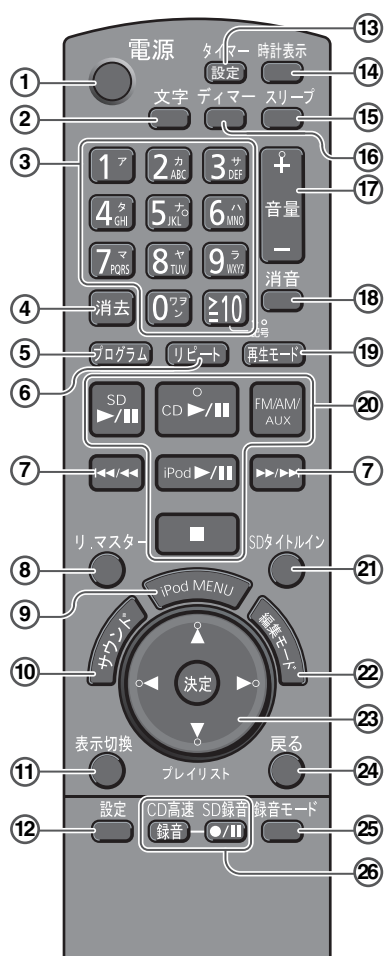
●iPod レバーがロックされていないと（☞ 18 ページ）、電動スライドドアは閉まりません。
（画面に「Dock Unlocked」が表示されます。）

●iPod 側（または CD 側）の電動スライドドアが開いている状態から、直接 CD 側（または iPod 側）の電動スライドドアを開けることはできません。

●iPod 側の電動スライドドアは、開いている状態で電源を切っても、自動的には閉まりません。

表示部

	なまえやはたらき	参照ページ
①	セレクター／各操作の画面／曲の情報／時計表示など	10, 12, 15, 17, 18
②	プレイリストや SD の情報	14
③	再生の種類	10 ～ 14
④	おやすみタイマー／おめざめタイマー／留守録タイマー	30 ～ 32

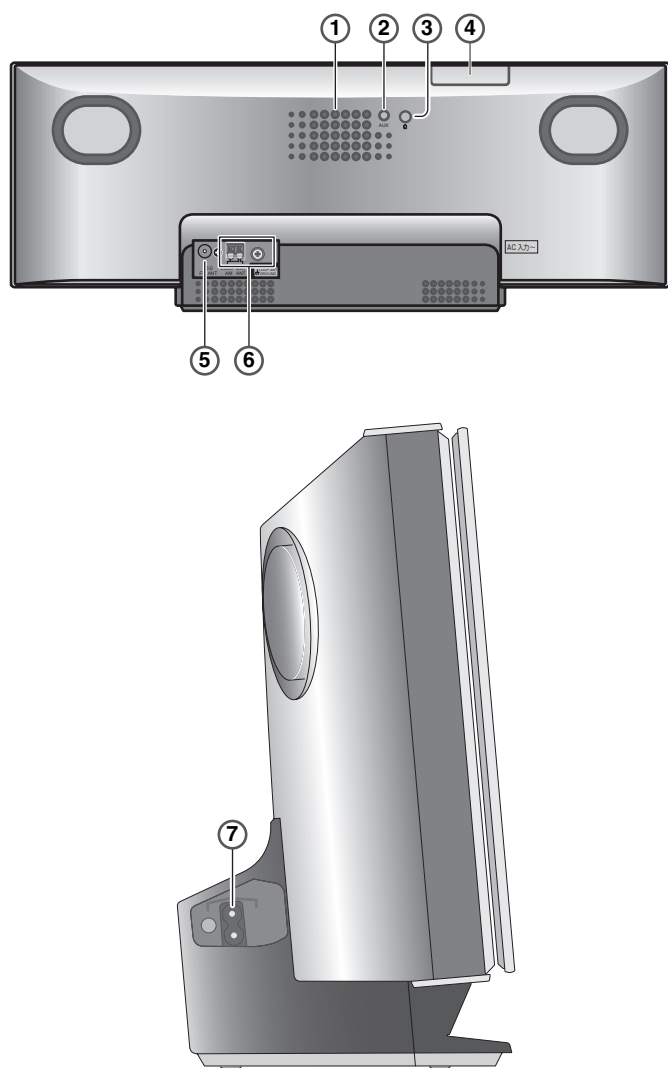
	なまえやはたらき	参照ページ
⑤	ラジオ受信状態	15, 16
⑥	録音モード	12, 20, 21
⑦	録音表示	19, 21, 22, 23
⑧	SD カードの状態表示	12
⑨	再生経過時間／ SD の録音残り時間	—
⑩	操作ガイド	—

リモコン

	なまえやはたらき	参照ページ
①	電源を入 / 切する	—
②	文字の種類を切り換える	29
③	番号を選ぶ／文字や数字を入力する	10, 11, 13, 15, 29
④	プログラム曲や文字を消去する	11, 13, 29
⑤	プログラム設定を入 / 切する	11, 13
⑥	リピート再生する	11, 14
⑦	スキップする／サーチする	10, 12, 18
⑧	リ．マスターを入 / 切する	33
⑨	iPod の選曲メニュー画面に入る	18
⑩	音質・音場効果を設定する	33
⑪	表示を切り換える	11, 14, 16, 34
⑫	システム設定画面を表示する	30, 32, 35
⑬	おめざめタイマー／留守録タイマーを設定する	30
⑭	時計を表示する	30
⑮	おやすみタイマーを設定する	32
⑯	表示部の明るさを変える	34
⑰	音量を調節する	—
⑱	一時的に消音する	34
⑲	再生モードを選ぶ／ラジオのマニュアル / プリセットを切り換える	10, 12, 15, 16
⑳	再生する（ラジオを受信する）／一時停止する／停止する	10, 12, 15, 17, 18
㉑	タイトルを入力する	28
㉒	編集モード画面を表示する	15, 24
㉓	メニューや設定画面で操作する（選ぶ／決定する）／スキップする／サーチする	—
㉔	メニューや設定画面で操作する（前の画面に戻る）	—
㉕	録音モードを設定する	21
㉖	SD に録音する	19, 21 ～ 23

本書の説明について

- リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 表示部の画面は説明のための例です。また、画面の一部を省略している場合があります。
- 本体とリモコンの同じなまえのボタンは同じ働きをします。

各部のはたらき（つづき）

本体背面／側面

なまえやはたらき	参照ページ
① 通気孔	43
② AUX（外部入力）端子	17
③ ∩（ヘッドホン）端子	34
④ SD 挿入部	12
⑤ FM アンテナ端子	5, 16
⑥ AM アンテナ端子	5, 16
⑦ AC 入力端子	5

お願い

SD 挿入部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしないようご注意ください。故障の原因になります。

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

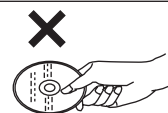
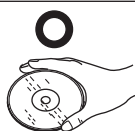
上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクについては録音や再生を保証していません。
DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

■CD-R と CD-RW の再生について

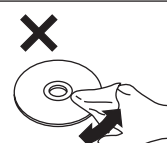
CD-DA フォーマットで記録された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

取扱上のお願い

■持ちかた

再生面(光っている面)には触れない

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

■CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

SD について

本機で使用できる SD カードについて

カードの種類（当社製を推奨）	
SD メモリーカード (8 MB ～ 2 GB)	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHC メモリーカード (4 GB ～ 32 GB)	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの
miniSD カード	本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。（☞ 12 ページ）
microSD/microSDHC カード	

最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/ で確認してください。

- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- 記録前に本機で初期化（CARD FORMAT）することをおすすめします。（☞ 27 ページ）
- 本機は、SD オーディオ規格に準拠した SD/SDHC メモリーカードの記録・再生に対応していますが、すべての SD/SDHC オーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。

> 動作確認済み機器について、くわしくは下記ホームページにてご確認ください。
> http://panasonic.jp/support/audio/

- 本機は SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。SDHC メモリーカードをパソコンなど他の機器でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください。

録音・編集について

SD カードへの録音は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット※1」を採用しています。

※ 1 SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。

■音楽の著作権保護のために

著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するための暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、ご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

- 本機は音楽データを暗号化して記録します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ / リストア（復元）には対応していません。
- SD カード内のデータを移動するには、マイグレート対応のソフトウェア「SD-Jukebox」（別売）をご使用ください。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

■録音・編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、SD カードを取り出したり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。
「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示中や SD ランプ、“SD”の点滅中に電源が切れたり、SD カードを取り出したりすると、録音・編集・タイトル入力が正しくされないだけでなく、SD カードが使えなくなることがあります。

- 録音時に誤って SD カードを取り出してしまったときは、SD カードを入れ直し、録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を消去し、もう一度録音してください。（ラジオなどからの録音では復元できませんので、ご注意ください。）
- 編集時に SD カードを取り出してしまったときは、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

■デジタル録音の制限について

CD から SD へのデジタル録音には SCMS（シリアル･コピー･マネージメント・システム）という制限があります。
本機で CD から SD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から SD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■ トラックマーク

録音部分に記録される区切りのことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

■ SD カード 1 枚への録音は、収録時間内で最大 999 曲までです

実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

再生について

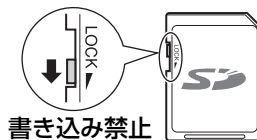
- 「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA※2/MP3）のみ再生できます。
（上記形式の音楽データでも正しく再生されない場合があります。）

※2 Windows Media Audio 9(WMA9)対応
ただし、Professional、Lossless、Voice及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

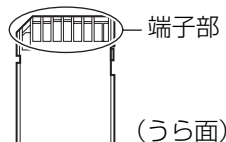
初期化（CARD FORMAT）について

- フォーマットは必ず本機で行ってください。（☞ 27ページ）他の機器でフォーマットしたカードは使用できないことがあります。（本機で初期化した場合、本機以外の機器で使えないことがあります。）

大切なデータを保護するために

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音･編集するときは解除してください。

- 操作の途中に SD カードを抜いたり、電源コードを抜き差ししたりしないでください。データが破壊されることがあります。

使用上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルは、はがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- うら面の金属端子部を手や金属で触らない。

> **SD カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い**
> 本機やパソコンの機能による「初期化」（CARD FORMAT）や「消去」（ERASE）では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全には消去されません。
> 廃棄 / 譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
> SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

CD を聴く

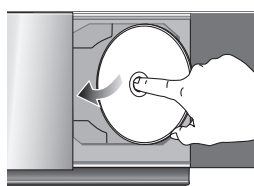
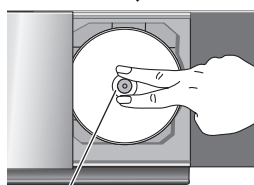
■本機で再生できるディスク

市販の音楽 CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（WMA/MP3）	× 再生できません

CD を聴く

1 電源 **押して電源を入れる**

2 本体のみ

① **押して電動スライドドアを開けて CD を入れる**

●CD の左側を電動スライドドアの下にすべりこませるようにして入れてください。

●ラベル面を上にして、カチッと音がするまで CD 中央部を押してください。

中央部

② **もう一度押して電動スライドドアを閉める**
（手で押して閉めない）

例）セレクターが CD のとき　曲数

CD　T 10
34:56

総再生時間

3 CD ▶/❚❚ **押す**
再生が始まります。

再生経過時間

■ リモコンでの操作

停止する	■ 押す ● 本体では ■ −デモ 押す
一時停止する	CD ▶/❚❚ 押す 再開するには、もう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	⏮/◀◀ ▶▶/⏭ 押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中 ⏮/◀◀ ▶▶/⏭ 押す 聴きたい位置まで押したままにする
音量を調節する	＋ 音量 − 押す ＋：大きくする −：小さくする ● 0（最小）～ 50（最大）

お知らせ

● 電源切の状態で、すでに CD が入っているときに［CD ▶/❚❚］を押すと、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

再生範囲を変える／順不同で聴く 再生モード

準備：CD を入れる。（☞ 左記「CD を聴く」）

1 再生モード
停止中に
押す
押すたびに
Random ——→ 1 Track
↑——Play Mode Off ←——

Random

Random：
CD をランダムプレイするとき
（画面に“⤨”が表示されます。）
1 Track：
1 曲を再生するとき
（画面に“1♪”が表示されます。）
Play Mode Off：
CD の曲順通りに再生するとき（通常の再生）

2 CD ▶/❚❚ **押す**

お知らせ

● ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。
● ランダムプレイ中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

好きな曲から聴く ダイレクトプレイ

準備：CD を入れる。（☞ 左記「CD を聴く」）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

押して曲を選ぶ
選んだ曲から順に再生が始まります。

■10 以上の曲番の選びかた
（例：12）
≧10 → 1 → 2

お知らせ

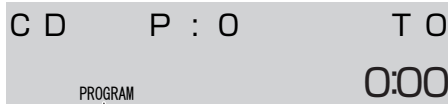
●ランダム / プログラム設定中（☞ 上記、11 ページ）は、ダイレクトプレイできません。各設定を解除してください。

曲を選んで聴く プログラムプレイ

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

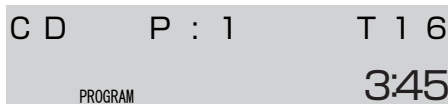
準備：CD を入れる。（☞ 10 ページ「CD を聴く」）

1 ［プログラム］ 停止中に **押す**

CD P：0 T 0
PROGRAM 0:00

“PROGRAM”が表示されます。

2 ［1］～［9］［0］［≧10］ **押して曲を選ぶ**

10 以上の曲番の選びかた
（☞ 10 ページ）

- 続けて選ぶときは、この操作をくり返す。（最大 24 曲まで）

総演奏時間

3 **押す**

プログラム順に再生が始まります。

■ 停止するには
再生中に［■］（停止）を押す（プログラム内容は保持）

■ プログラム内容を確認するには
停止中に［⏮/◀◀］、［▶▶/⏭］を押す

■ プログラム曲を追加するには
停止中に手順 ❷ を行う

■ 通常の再生に戻すには
停止中に［プログラム］を押して“PROGRAM”を消す（プログラム内容は保持）

- プログラムプレイに戻るには、［プログラム］を押して、再生する。

プログラムを取り消すには

■ すべて取り消す
①停止中に［■］（停止）を押す
②［▲］、［▼］で「YES」を選び、決定する

■ 1 曲ずつ取り消す
停止中に［消去］を押す
- 押すたびに最後の曲から取り消されます。

お知らせ
- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- CD 側の電動スライドドアを開けると、プログラム内容は取り消されます。
- プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
- プログラムプレイ中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

くり返し聴く リピートプレイ

リピートプレイは、下記の再生方法と組み合わせることができます。

- 通常の再生 （☞ 10 ページ）
- 再生モードを変えて再生 （☞ 10 ページ）
- 曲を選んで再生 （☞ 左記）

準備：CD を入れる。（☞ 10 ページ「CD を聴く」）

1 **押して「Repeat On」を選ぶ**

押すたびに
Repeat On ⟷ Repeat Off

画面に“⭯”が表示されます。

2 **押す**

■ 解除するには
［リピート］を押して、「Repeat Off」を選ぶ

残り時間を見るには

［表示切換］ 押す

押すたびに内容が切り換わります。（再生中や一時停止中など状態によって異なります。）

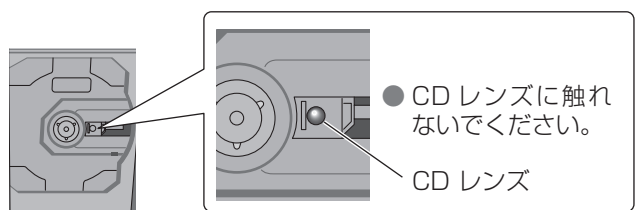
例）再生中

CD を取り出すには

本体のみ

［CD▲ 開/閉］ 押す

電動スライドドアが開きます。
- 閉めるには、もう一度押す

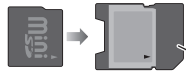
お願い
- 電動スライドドアに当たらないように CD を取り出してください。
- 電動スライドドアの開 / 閉時に指をはさまないようにご注意ください。
- 電動スライドドアを開いたまま長時間放置しないでください。CD レンズの汚れの原因になります。

SD を聴く

■再生できるデータ形式

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA/MP3）※のみ再生できます。（静止画および動画は再生できません。）
※ WMA/MP3 は、SD-Jukebox（☞ 36 ページ）で作成されたもののみ。

miniSD/microSD/microSDHC を使うとき

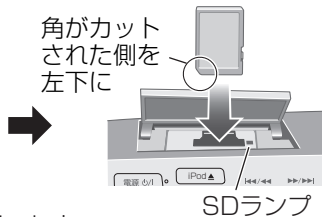
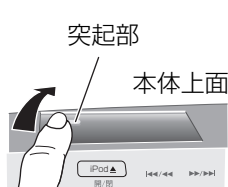
専用アダプターが必要です。

miniSD カード

microSD カード
microSDHC カード

SD を聴く

1 電源 **電源を入れる**

2 SD カード（録音済み）を入れる

突起部を奥へ押して、ふたを開ける　　SD カードを奥までまっすぐ差し込む

● SD ランプが点灯します。
● 画面に "SD" が表示されます。
● セレクターが SD になっているときは、曲数・総再生時間が表示されます。

SD　T 1 8 — 曲数
56:26 — 総再生時間

3 **押す**

セレクターが SD に切り換わり再生が始まります。

■録音モードの表示について

SD を再生すると、表示部に録音時のモードが表示されます。（データが AAC のときのみ）
● 高音質モードで録音した曲："XP"
● 標準モードで録音した曲："SP"
● 長時間モードで録音した曲："LP"
本機以外の機器で録音された曲の場合、表示されないことがあります。

■ リモコンでの操作

操作	方法
停止する	■ 押す　● 本体では ■ -デモ 押す
一時停止する	SD ▶/II 押す 再開するには、もう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	◀ 決定 ▶ 押す ⏮/◀◀　▶▶/⏭ 押す
プレイリストを飛ばす（プレイリストスキップ）	▲ ▼ 押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中 ◀ 決定 ▶ 押す 聴きたい位置まで押したままにする ⏮/◀◀　▶▶/⏭ 押す 聴きたい位置まで押したままにする
音量を調節する	＋ 音量 － 押す　＋：大きくする　－：小さくする ● 0（最小）～ 50（最大）

お知らせ
● 電源切の状態で、すでに SD カードが入っているときに［SD ▶/II］を押すと、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

再生範囲を変える／順不同で聴く 再生モード

準備：SD を入れる。（☞ 左記「SD を聴く」）

1 再生モード 停止中に **押す**

押すたびに
Random ——→ 1 Track
↑—— Play Mode Off ←——

R a n d o m

Random：
プレイリスト内の全曲をランダムプレイするとき（画面に "🔀" が表示されます。）
1 Track：
1 曲を再生するとき（画面に "🔂" が表示されます。）
Play Mode Off：
プレイリストを曲順通りに再生するとき（通常の再生）

● プレイリストについては（☞ 24 ページ）

2 **押す**

お知らせ
● ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。
● ランダムプレイ中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

好きな曲から聴く ダイレクトプレイ

準備：SD を入れる。（☞ 12 ページ「SD を聴く」）

トラックから選ぶ

[1][2][3][4][5][6][7][8][9][0][≧10]

押して曲を選ぶ

選んだ曲から順に再生が始まります。

■ 10 以上の曲番の選びかた

● 10 以上のとき（例：12）

[≧10]→[1]→[2]

● 100 以上のとき（例：235）

[≧10]→[≧10]→[2]→[3]→[5]

プレイリストから選ぶ

プレイリストについては「プレイリストとは」（☞ 24 ページ）をご覧ください。

1 [≧10]

数回押して、プレイリストを選択する画面を表示させる

● 押すたびにカーソルの位置が動きます。

例）SD カードにプレイリストが 10 以上、プレイリストに曲が 10 以上

SD　　PL12　T−−

現在のプレイリスト

SD　　PL−−

点滅時、入力可能

2 [1][2][3][4][5][6][7][8][9][0]

① 押してプレイリストを選ぶ

SD　　PL13　T−−

② 押して曲を選ぶ

SD　　PL13　T11

お知らせ

● ランダム / プログラム設定中（☞ 12 ページ、右記）は、ダイレクトプレイできません。各設定を解除してください。

曲を選んで聴く プログラムプレイ

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

準備：SD を入れる。（☞ 12 ページ「SD を聴く」）

1 [プログラム]

停止中に

押す

P：0　T0

PROGRAM　0:00

“PROGRAM”が表示されます。

2 **曲を選ぶ**

曲を選ぶには「好きな曲から聴く」（☞ 左記）

P：1　T16

PROGRAM　3:45

総演奏時間

● 続けて選ぶときは、この操作をくり返す。
（最大 24 曲まで）

3 [SD ►/II]

押す

プログラム順に再生が始まります。

■ 停止するには
再生中に［■］（停止）を押す（プログラム内容は保持）

■ プログラム内容を確認するには
停止中に［◄◄/◄◄］、［►►/►►］を押す

■ プログラム曲を追加するには
停止中に手順 ❷ を行う

■ 通常の再生に戻すには
停止中に［プログラム］を押して“PROGRAM”を消す（プログラム内容は保持）

● プログラムプレイに戻るには、［プログラム］を押して、再生する。

プログラムを取り消すには

■ すべて取り消す
① 停止中に［■］（停止）を押す
② ［▲］、［▼］で「YES」を選び、決定する

■ 1 曲ずつ取り消す
停止中に［消去］を押す
● 押すたびに最後の曲から取り消されます。

お知らせ

● 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
● SD カードを取り出すと、プログラム内容は取り消されます。
● プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
● プログラムプレイ中のサーチは、再生中の曲の中だけで行われます。

SD を聴く（つづき）

くり返し聴く　リピートプレイ

リピートプレイは、下記の再生方法と組み合わせることができます。

- 通常の再生　（☞ 12 ページ）
- 再生モードを変えて再生（☞ 12 ページ）
- 曲を選んで再生　（☞ 13 ページ）

準備：SD を入れる。（☞ 12 ページ「SD を聴く」）

押して「Repeat On」を選ぶ

押すたびに
Repeat On ⟷ Repeat Off
画面に“⟲”が表示されます。

押す

■ 解除するには
［リピート］を押して、「Repeat Off」を選ぶ

残り時間やタイトルなどを見るには

表示切換 ◯ 押す　押すたびに内容が切り換わります。（停止中や再生中など状態によって異なります。）

例）再生中

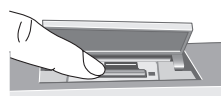
“♪”が表示されます

“👤”が表示されます

お知らせ

他の機器で記録した SD を本機で再生する場合、プレイリストの種類を表す次のような文字がプレイリスト名の先頭に表示されることがあります。

表示される文字	プレイリストの種類
ABM	アルバム
ART	アーティスト
IM1 ～ IM8	印象選曲
RRT	新曲
BST	マイベスト

SD カードを取り出すには

① 停止中に SD カードの中央部を指で押す（指でつまめるくらい SD カードが出てきます。）
② まっすぐ引き抜く

お願い

- 「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示中や、SD ランプ、“SD”点滅中は、絶対に SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

ラジオを聴く

①FM 簡易型アンテナ /AM ループアンテナを接続する。（☞ 5 ページ）
②［FM/AM/AUX］を押して、セレクターを FM または AM に切り換える。
（電源切時の場合は、電源が入ります。）
● 押すたびに以下のように切り換わります。
FM → AM → AUX

共通操作

■ 前の画面に戻る：［戻る］を押す
■ 途中で設定を止める：［■］（停止）を押す

周波数を合わせて聴く マニュアルチューニング

再生モード

ラジオ受信中に
押して「Manual」を選ぶ

押すたびに
Manual ←→ Preset

2

押して
周波数を合わせる

FM 76．1MHz
ST

FM ステレオ放送受信時に“ST”が表示されます。

■ **自動選局するには（オートチューニング）**

周波数が動き始めるまで押したままにする

●放送を受信すると止まります。
●好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

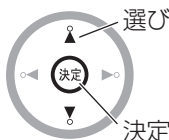
お知らせ
● オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

放送局を記憶させる

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

お住まいの地域を選択する AREA

押す
編集モード画面になります。

2

①「AREA」を選び、決定する
②地域（☞ 16 ページ）を選び、決定する
● 数字ボタンでも入力できます。

■10 以上の選びかた
（例：12）
≧10 → 1 → 2

例）

11　トウキョウケン

その地域で受信できる主な FM/AM の放送局がチャンネルに記憶されます。

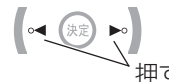
好みの局を記憶させる SET PRESET

「お住まいの地域を選択する」（☞ 上記）で記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。

1 再生モード

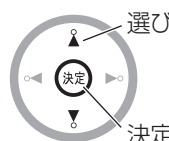
ラジオ受信中に
押して「Manual」を選ぶ

押すたびに
Manual ←→ Preset

2 決定 押す

押して登録したい周波数に合わせる

3

押す
編集モード画面になります。

4

①「SET PRESET」を選び、決定する
②チャンネルを選び、決定する

FM1 76．5MHz

選んだチャンネルに受信中の放送局が記憶され、元の画面に戻ります。

ラジオを聴く（つづき）

記憶させた放送局を聴く プリセットチューニング

1

ラジオ受信中に

押して「Preset」を選ぶ

押すたびに

Preset ←→ Manual

2 押す

押してチャンネルを選ぶ

選んだチャンネルの放送局を受信します。

● 登録のないチャンネルはスキップされます。

FM1 76.1MHz

チャンネル

● 数字ボタンでもチャンネルを選べます。
10 以上の選びかた（☞ 15 ページ）

お知らせ

● プリセットチューニングは、FM のモノラル受信での登録も可能です。（☞ 下記「FM ステレオ放送で雑音が多いときは」）

■記憶させたチャンネルを消去するには

① [編集モード] を押す
②「ERASE PRESET」を選び、決定する
③ 消去したいチャンネルを選び、決定する

■放送局名を見るには

[表示切換] を押すたびに内容が切り換わります。

●「AREA」で記憶した放送局名のみ表示されます。

FM ステレオ放送で雑音が多いときは

① [編集モード] を押す
② [▲]、[▼] で「FM MODE」を選び、決定する
③ [▲]、[▼] で「MONO」を選び、決定する
画面に“MONO”が表示されます。

● ステレオに戻すときは、手順③で「AUTO」を選んでください。（通常は「AUTO」にすることをおすすめします。）

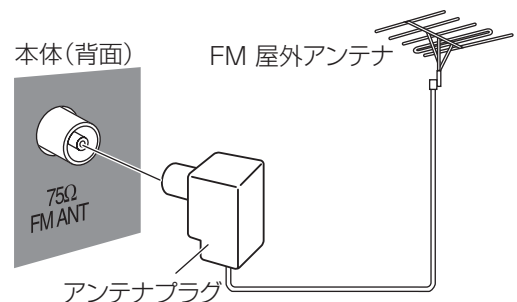
AM 放送で雑音が多いときは

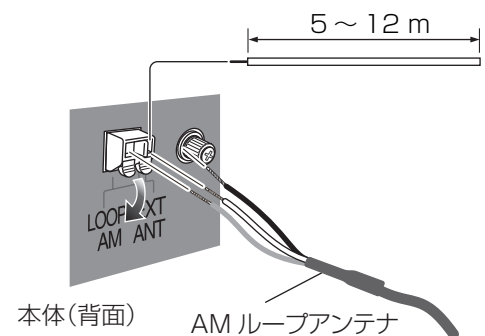
① [編集モード] を押す
② [▲]、[▼] で「AM BEAT-PROOF」を選び、決定する
③ [▲]、[▼] で「BP1」から「BP4」のうち、雑音の少ないものを選び、決定する

ラジオがうまく受信できないときは

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナを取り外します。
アンテナ線（同軸ケーブル）をアンテナプラグ（市販）に取り付けて、背面に接続します。

AM（市販のコードの利用）

付属の AM ループアンテナは取り外さないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

■「AREA」で選択する番号と地域（2009 年 1 月現在）

番号	地域名	番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形		
6	仙台	25	鳥取
7	福島	26	松江
8	宇都宮	27	広島
9	水戸	28	山口
10	前橋	29	高松/岡山
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	30	徳島
		31	松山
		32	高知
12	甲府	33	福岡
13	松本	34	北九州
14	静岡	35	佐賀
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	36	長崎
		37	大分
16	津	38	熊本
17	新潟	39	宮崎
18	富山	40	鹿児島
19	金沢	41	那覇
20	福井		

テレビなど外部機器の音声を聴く

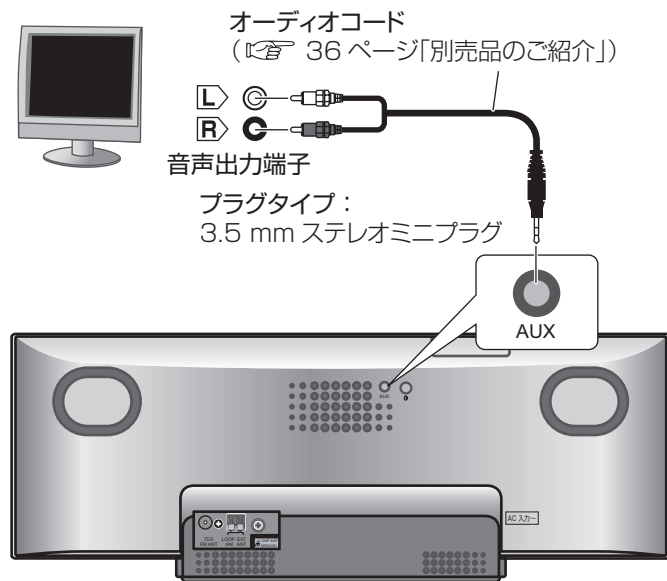
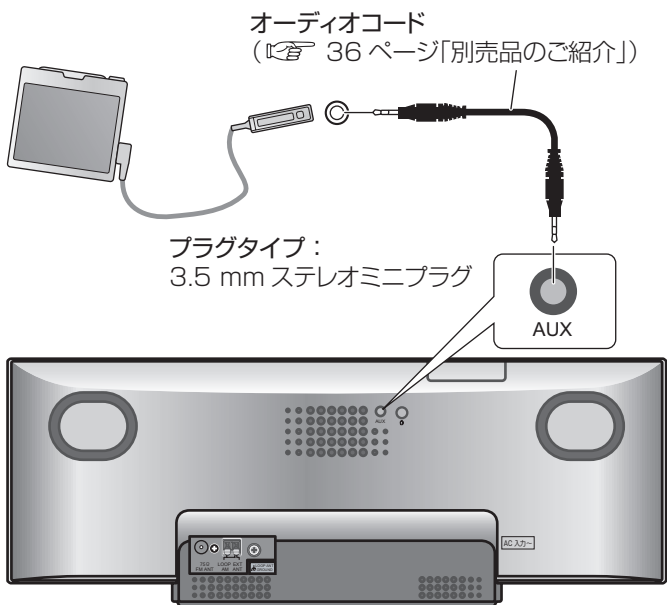
外部機器を接続する

- ポータブル機器
- テレビ
- ビデオデッキ
- 有線放送
- BS/CS チューナー

など

電源を切った状態で接続します。

- 接続した機器の取扱説明書もご覧ください。

音声出力端子のある機器

ポータブル MD などの機器

外部機器の音声を本機で聴く

- テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく。
- ポータブル機器の場合、ポータブル機器側で音量を調節しておく。

準備 電源を入れる。

1

押してセレクターを AUX に切り換える

押すたびに

FM → AM → AUX → FM

例）

AUX　　High

入力レベル（☞ 下記）

2 外部機器を操作して再生する

入力レベルを変更するには

音量に過不足を感じる場合などに使用します。

［再生モード］を押して入力レベルを選ぶ

押すたびに

Level High ⟷ Level Normal

- 音量が小さい場合は「Level High」を選び、音量が大きい場合は「Level Normal」を選ぶ。

iPod の音楽を聴く／録る

対応している iPod を接続すると、本機のボタン操作で iPod の充電 / 再生 / 録音ができます。
- iPod に付属されている説明書などもお読みください。
- iPod の対応機種については（☞ 19 ページ）

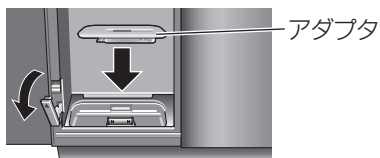
iPod を本機に接続する

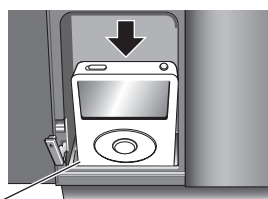
接続前に iPod の電源を切った状態にしてください。

本体のみ

iPod▲ 開/閉 **押して電動スライドドアを開ける**

2 ① **iPod レバーのロックスイッチを押す**
（iPod レバーが出てきます。）

② **iPod レバーを倒し、iPod に付属されているアダプタを取り付ける**

③ **iPod を取り付ける**

④ **iPod レバーを押して戻す**

iPod がロックされた状態になります。

- 接続したあと、iPod に無理に力を入れて動かさないでください。
- iPod にアダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。

3 本体のみ

iPod▲ 開/閉 **押して電動スライドドアを閉める**

■iPod を取り外すときは
①再生、録音を停止する
②電動スライドドアを開ける
③iPod レバーのロックスイッチを押してから倒し、iPod を取り出す
④iPod レバーを押して戻す
⑤電動スライドドアを閉める

お願い
- iPod を取り外す場合は、iPod の挿入の傾きに沿ってまっすぐ引き抜いてください。
- iPod 挿入部に iPod 以外の物を入れないでください。

お知らせ
- iPod のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。

iPod を本機で充電する

本機に iPod を接続する（☞ 左記）

- 電源切時の充電中は本機に「iPod Charging」が表示されます。
- 充電が完了したかどうかは iPod の画面で確認できます。

お願い
- 充電完了後、iPod を長期間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

お知らせ
- 電動スライドドアが閉まっている状態で iPod を充電しているときは、内部の冷却用ファンが回ることがあります。
- 電源切時、電動スライドドアの CD 側が開いた状態の場合、iPod は充電されません。

iPod の音楽を本機で再生する

1 **本機に iPod を接続する**（☞ 左記）

2 iPod ▶/❚❚ **押す**
- 操作表示は iPod の画面で確認できます。

操作は本機のボタンで行います。

操作	方法
一時停止する	iPod ▶/❚❚ 押す 再開するにはもう一度押す
	■ 押す ● 本体では ■ −デモ 押す 再開するには［iPod ▶/❚❚］を押す
曲を飛ばす（スキップ）	❙◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶❙ 押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	❙◀◀/◀◀ ▶▶/▶▶❙ 押す 聴きたい位置まで押したままにする
選曲メニュー画面に入る	iPod MENU 押す
一つ前の画面に戻る	
選んで決定する	選び 決定
音量を調節する	＋ 音量 − 押す
消音する（ミューティング）☞ 34 ページ	消音 押す
音質 / 音場を変える ☞ 33 ページ	サウンド リ.マスター 押す

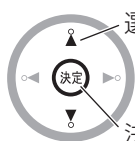
お知らせ
- ［戻る］は使用できません。
- 電源切の状態で、すでに iPod が接続されているときに［iPod ▶/❚❚］を押すと、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

iPod の音楽を SD に録る

20 ページの「録音するまえに」もお読みください。

①iPod を接続（☞ 18 ページ）し、録音したいプレイリストなどを選んでおく。
②録音用 SD カードを入れる。
③録音モードを選ぶ。（☞ 21 ページ）
④［iPod ▶/❚❚］→［■］（停止）を押して、セレクターを iPod に切り換える。

1 録音モード **押す**

2

① **「TRACK MARK」を選び、決定する**
② **録音タイプを選び、決定する**

■ **録音タイプの種類**
MANUAL：
通常の録音タイプ（トラックは自動的に分割されません。）
AUTO (5 MIN)：
5 分おきにトラックマークが自動的に追加
SYNCHRO：
iPod の再生が始まると自動的に録音を開始
（手動でトラックマークを付けることはできません。）

3 SD録音 ●/❚❚ **押す**

録音が始まります。
- 「SYNCHRO」の場合、録音待機状態になります。

4 iPod ▶/❚❚ **押して iPod を再生する**

- 「SYNCHRO」の場合、音の出始めから録音が始まります。

■ **停止するには**
録音中に［■］（停止）を押す

■ **一時停止するには**（「SYNCHRO」録音中はできません）
［SD 録音 ●/❚❚］を押す（“REC” が点滅）
SD は一時停止し、iPod 側は再生を続けます。
- 再開するには、もう一度押す
（トラックマークが付きます。）

■ **iPod を一時停止するには**
［iPod ▶/❚❚］を押す

■ **SD の録音可能残り時間を確認するには**
［表示切換］を数回押す

(お知らせ)
- 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
- 「SYNCHRO」では無音状態が約 2 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
- 録音する曲の種類によっては、「SYNCHRO」を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、「MANUAL」または「AUTO (5 MIN)」で録音してください。

録音中に手動でトラックマークを付けるには

録音中に付けることができます。

「TR Marking」と表示され、その位置にトラックマークが付きます。
- 曲と曲をつないでトラックマークを消すことはできません。

■ **本機で使用できる iPod**（2009 年 1 月現在）

名前	容量
iPod touch 第 2 世代	8 GB、16 GB、32 GB
iPod nano 第 4 世代（ビデオ）	8 GB、16 GB
iPod classic	120 GB
iPod touch 第 1 世代	8 GB、16 GB、32 GB
iPod nano 第 3 世代（ビデオ）	4 GB、8 GB
iPod classic	80 GB、160 GB
iPod nano 第 2 世代（アルミニウム）	2 GB、4 GB、8 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	60 GB、80 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB、2 GB、4 GB
iPod 第 4 世代（カラーディスプレイ）	40 GB、60 GB
iPod 第 4 世代（カラーディスプレイ）	20 GB、30 GB
iPod 第 4 世代	40 GB
iPod 第 4 世代	20 GB
iPod mini	4 GB、6 GB

- ご使用の iPod またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
- 本機で iPod に、録音・記録することはできません。

録音するまえに

■SDの音楽データについて

本機でSDに録音した曲（音楽データ）は、SDオーディオフォーマット※1に対応した著作権保護付きのAACデータになります。

※1 SDアソシエーションにて制定されたSDカードのオーディオ規格です。

高速録音について

■ 録音速度

CDからSDへ最大8倍速で録音します。（LPモードは最大は5倍速）

74分のCDなら、SDへ約12分で録音が完了します。

- CD-RWからの録音は、2倍速になります。
- ディスクや条件によっては、最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。高速録音できない場合は、通常速での録音を行ってください。
- 高速録音は、常に最大倍速になるわけではありません。

■ CDからSDカードへの高速録音時のお願い

- 高速録音するときは、当社製SDカードのご使用をおすすめします。

■ 録音モード

録音モードによって、録音時間や音質が異なります。

いい音で録るには…	標準で録るには…	曲をたくさん録るには…
XPモード（高音質）	SPモード（標準）	LPモード（長時間）

■ 録音可能時間と記録曲数のめやす（1曲を約4分とした場合）

本機では、8 MB～32 GBまでのSDカードが使用できます。

録音モード / カード容量	XP (128 kbps)		SP (96 kbps)		LP (64 kbps)	
64 MB	約1時間4分	約15曲	約1時間25分	約20曲	約2時間8分	約30曲
128 MB	約2時間10分	約30曲	約2時間53分	約40曲	約4時間20分	約65曲
256 MB	約4時間14分	約60曲	約5時間38分	約80曲	約8時間28分	約125曲
512 MB	約8時間23分	約125曲	約11時間11分	約165曲	約16時間47分	約250曲
1 GB	約16時間47分	約250曲	約22時間23分	約335曲	約33時間34分	約500曲
2 GB	約34時間8分	約510曲	約45時間31分	約680曲	約68時間17分	約999曲
4 GB	約66時間29分	約999曲	約88時間39分	約999曲	約132時間59分	約999曲
8 GB	約136時間27分	約999曲	約139時間5分※2	約999曲	約142時間38分※2	約999曲
16 GB	約139時間5分※2	約999曲	約139時間5分※2	約999曲	約142時間38分※2	約999曲
32 GB	約139時間5分※2	約999曲	約139時間5分※2	約999曲	約142時間38分※2	約999曲

- 上記表の時間値は最大記録時間です。記録する曲数や曲ごとの時間により、短くなることがあります。
  ※2 SDオーディオ規格上の制約により、曲数に限らず最大記録時間に限界があり、この時間以上は記録できません。
- SDオーディオ規格では、曲の書き込みに制限があります。1枚あたりの曲数は最大999曲、1枚あたりのプレイリスト数は最大99、1プレイリストあたりの曲数は最大99曲です。ただし、1曲の最大管理時間が約8分30秒であるため、それを超えて記録された場合の最大曲数は999曲よりも少なくなります。
- **本機に入れたSDカードの録音可能時間を確認するには（☞ 34ページ）**

SDカードへの録音時のお願い

SDカードを保護するために…

- SDカードへの録音中にSDカードを取り出さないでください。取り出すと、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。
- 録音が終わっても、「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示中やSDランプ、“SD”の点滅中は、絶対にSDカードを取り出さないでください。SDカードが使えなくなることがあります。

録音時に誤って取り出してしまったときは…

- 録音が停止します。CD、iPodや外部機器などから録音していた場合は、SDカードを入れ直し、録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は録音内容を消去して、もう一度録音してください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

SD に録る

本機で SD カードを初めて使用される場合には、SD カードを本機で初期化（CARD FORMAT）してください。（☞ 27 ページ）

準備
①電源を入れる。
②録音する CD を入れる。
　ラジオの場合はラジオを受信する。
　（☞ 15 ページ）
③録音用 SD カードを入れる。
④録音モードを選ぶ。（☞ 下記）

本機では、8 MB から 32 GB までの、SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /miniSD カード /microSD カード /microSDHC カード（miniSD カード /microSD カード /microSDHC カードは専用アダプターが必要）が使えます。
- 高速録音するときは、当社製 SD カードのご使用をおすすめします。
- マルチメディアカードは使用できません。

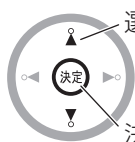
■**高速録音（イッキ録り含む）とは**
音を出さずに高速で録音します。（☞ 20 ページ「高速録音について」）
■**通常速録音とは**
音を聴きながらの録音です。

共通操作
■停止するには：[■]（停止）を押す
■SD の録音可能残り時間を確認するには：[表示切換] を数回押す

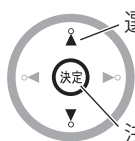
(お知らせ)
- ランダム設定では録音できません。
- CD から SD への録音中、一時停止はできません。

録音モードを選ぶには

1 録音モード　押す

2

「SD REC MODE」を選び、決定する

SD REC MODE

3

録音モードを選び、決定する
- 録音モード

XP	高音質
SP	↕
LP	長時間

CD を SD に録る　高速録音

1 セレクターを CD に切り換える

① 押す
[■] ② 押す

2 再生モード　押す

押すたびに
1 Track → Play Mode Off
↑ ← Random ←

Random：	録音できません
1 Track：	1 曲を録音するとき
Play Mode Off：	CD 全曲を録音するとき

3

高速で録音する

CD高速録音 ＋ SD録音●/II

［CD 高速録音］を押したまま［SD 録音 ●/II］を押す
画面に"HI-SPEED"と"REC"が表示されます。

通常速で録音する

SD録音●/II　押す
録音が始まります。
画面に"REC"が表示されます。

■途中の曲から録音するには
停止中に［|◀◀/◀◀］、［▶▶/▶▶|］を押して、録音を始めたい曲を表示させた状態で、録音する

SD に録る（つづき）

CD を SD にイッキ録りする 高速録音

イッキ録りすると、CD ごとにひとつのプレイリストとして録音されます。
また、SD Title Editor（別売）を使うと、タイトルなどを自動で入力することもできます。（☞ 28 ページ「SD Title Editor を使う」）

1 セレクターを CD に切り換える

 ① 押す

 ② 押す

2 本体のみ

●CD▸SD 高速録音 **押す**

- CD の情報を確認後、SD へのイッキ録りが始まります。
- 画面に“HI-SPEED”と“REC”が表示されます。

- 途中の曲までしか録音できない場合、録音できる範囲が約 6 秒間表示されます。
  例）「REC T1–T5」という表示は、CD の 1 曲目から 5 曲目まで録音できることを表しています。
  表示中に、[■]（停止）を押すとイッキ録りを解除できます。録音モードを選び直すことで全曲録音できる場合があります。
- 「Rec Retry」と表示している場合は、CD の情報をうまく読み取れなかったため、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

お知らせ
- イッキ録り時はプログラム設定やランダム設定は解除されます。

CD の曲を選んで SD に録る プログラム録音

1 セレクターを CD に切り換える

 ① 押す

■ ② 押す

2 好みの曲を選ぶ

曲を選ぶには「曲を選んで聴く」の手順❶、❷（☞ 11 ページ）

3 SD録音 ●/II **押す**

録音が始まります。

ラジオを SD に録る

1 **押してセレクターを FM または AM に切り換える**

押すたびに
FM → AM → AUX → FM

2 録音モード

① 押す

② 「TRACK MARK」を選び、決定する（選び／決定）

TRACK MARK

③ 録音タイプを選び、決定する

■ 録音タイプの種類
MANUAL：
通常の録音タイプ（トラックは自動的に分割されません。）
AUTO (5 MIN)：
5 分おきにトラックマークが自動的に追加

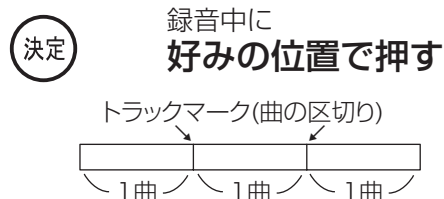
3 SD録音 ●/II **押す**

録音が始まります。

■ 一時停止するには
［SD 録音 ●/II］を押す（“REC”が点滅）
SD は一時停止し、ラジオは受信を続けます。
- 再開するには、もう一度押す（トラックマークが付きます。）

録音中に手動でトラックマークを付けるには

録音中に付けることができます。

決定 録音中に
好みの位置で押す

「TR Marking」と表示され、その位置にトラックマークが付きます。
- 曲と曲をつないでトラックマークを消すことはできません。

テレビなど外部機器の音声を録る

● テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく。
● ポータブル機器の場合、ポータブル機器側で音量を調節しておく。

準備
① 外部機器を接続する。（☞ 17 ページ）
② 電源を入れる。
③ 録音用 SD カードを入れる。
④ 録音モードを選ぶ。（☞ 21 ページ）

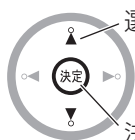
1

押してセレクターを AUX に切り換える

押すたびに

FM → AM
↑ AUX ↵

2

① 押す

②「TRACK MARK」を選び、決定する

TRACK MARK

③ 録音タイプを選び、決定する

■ 録音タイプの種類

MANUAL：
通常の録音タイプ（トラックは自動的に分割されません。）
AUTO (5 MIN)：
5 分おきにトラックマークが自動的に追加
SYNCHRO：
接続した機器の再生が始まると自動的に録音を開始（手動でトラックマークを付けることはできません。）

3

SD録音 ●/❚❚

押す

録音が始まります。

●「SYNCHRO」の場合、録音待機状態になります。

4

外部機器を再生する

●「SYNCHRO」の場合、音の出始めから録音が始まります。

■ **停止するには**
録音中に［■］（停止）を押す

■ **一時停止するには**（「SYNCHRO」録音中はできません）
［SD 録音 ●/❚❚］を押す
（“REC” が点滅）
SD は一時停止し、外部機器側は再生を続けます。
● 再開するには、もう一度押す
（トラックマークが付きます。）

■ **SD の録音可能残り時間を確認するには**
［表示切換］を数回押す

お知らせ

● 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
●「SYNCHRO」では無音状態が約 2 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
● 録音する曲の種類によっては、「SYNCHRO」を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、「MANUAL」または「AUTO (5 MIN)」で録音してください。
● 音量に過不足を感じる場合は入力レベルを変更してください。（☞ 17 ページ）

録音中に手動でトラックマークを付けるには

録音中に付けることができます。

録音中に
好みの位置で押す

「TR Marking」と表示され、その位置にトラックマークが付きます。

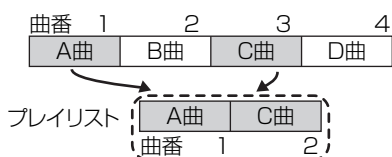
● 曲と曲をつないでトラックマークを消すことはできません。

SD を編集する

プレイリストを編集したり、不要な曲を消去したりして、自分だけのオリジナル SD が作れます。

①電源を入れる。
②編集したい SD カードを入れる。
③セレクターを SD に切り換える。

■プレイリストとは

録音した曲（トラック）を集めて、再生したい順に並べたものです。

SD カードの最大記録数

- プレイリスト数：99
- ひとつのプレイリストに登録できる曲数：99

● プレイリストは再生順を登録するだけなので、SD カードの容量はほとんど使いません。

共通操作

■ 前の画面に戻る：［戻る］を押す

■ 途中で編集を止める：［■］（停止）を押す

お願い

● 録音が終わっても、「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示中や SD ランプ、"SD" の点滅中は、絶対に SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

● **SD カードの編集中に SD カードを取り出してしまったときは、SD カードを入れ直し、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。**

お知らせ

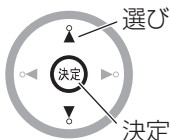
● 一度に消去する曲数が多い場合や、消す曲が多数のプレイリストに登録されている場合、編集に時間がかかることがあります。

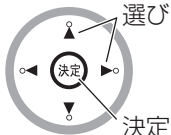
プレイリストを作成する PL CREATE

1

停止中に
押す
編集モード画面になります。

2

選び
決定

① **「PLAYLIST」を選び、決定する**

PLAYLIST>

② **「PL CREATE」を選び、決定する**

3

選び
決定

プレイリストに登録する曲を選び、決定する

［▲］、［▼］で曲を表示、
［◀］、［▶］で選ぶ

＊1.Eine Klein

選択すると「＊」が表示されます。

4 **プレイリスト名を入力する**

（☞ 29 ページ「文字入力のしかた」）

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

お知らせ

● すでにプレイリストが 99 ある場合はメニューに「PL CREATE」は表示されません。作成する場合は、不要なプレイリストを解除してください。（☞ 25 ページ）

プレイリストを解除する PL RELEASE

プレイリスト内の曲は消去されません。

停止中に
押す
編集モード画面になります。

①「PLAYLIST」を選び、決定する
②「PL RELEASE」を選び、決定する

解除するプレイリストを選び、決定する

２．Ｈｉｔ　ｃｈａｒｔ

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

曲を移動する MOVE TRACK

曲番1 2 3
B曲 C曲 A曲

停止中に
押す
編集モード画面になります。

①「PLAYLIST」を選び、決定する
②「MOVE TRACK」を選び、決定する

移動元と移動先のトラックを選び、決定する
[▲]、[▼] でトラックを選び、[◀]、[▶] で移動元 / 移動先を選ぶ

Ｔ１－＞Ｔ３

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

プレイリストに曲を追加する ADD TRACK

停止中に
押す
編集モード画面になります。

選び
決定

①「PLAYLIST」を選び、決定する
②「ADD TRACK」を選び、決定する

プレイリストに追加したい曲を選び、決定する
[▲]、[▼] で曲を表示、[◀]、[▶] で選ぶ

＊１．Ｅｉｎｅ　Ｋｌｅｉｎ

選択すると「＊」が表示されます。

プレイリストを選び、決定する

２．Ｈｉｔ　ｃｈａｒｔ

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

SD を編集する（つづき）

プレイリストから曲を除外する REMOVE TRACK

元の曲は消去されません。
プレイリストから全曲除外すると、プレイリストは自動的に解除されます。

停止中に
押す
編集モード画面になります。

2 ①「PLAYLIST」を選び、決定する
②「REMOVE TRACK」を選び、決定する

選び
決定

3 プレイリストを選び、決定する

2．Hit chart

4 プレイリストから除外したい曲を選び、決定する
[▲]、[▼] で曲を表示、
[◀]、[▶] で選ぶ

＊1．Eine Klein

選択すると「＊」が表示されます。

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

曲を選んで消す TRACK ERASE

曲番1 2 3

A曲	B曲	C曲

曲番1 2

A曲	C曲

1

停止中に
押す
編集モード画面になります。

2 ①「ERASE」を選び、決定する
②「TRACK ERASE」を選び、決定する

選び
決定

3 消去したい曲を選び、決定する
（一度に選べるのは、最大 24 曲まで）
[▲]、[▼] で曲を表示、
[◀]、[▶] で選ぶ

選び
決定

＊1．Eine Klein

選択すると「＊」が表示されます。

4 「YES」を選び、決定する

ERASE?　　　YES

「カード ヲ ヌカナイデ クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

プレイリスト内の全曲を消す PL ERASE

停止中に
押す
編集モード画面になります。

2 選び／決定
①「ERASE」を選び、決定する
②「PL ERASE」を選び、決定する

3 選び／決定
プレイリストを選び、決定する

4 選び／決定
「YES」を選び、決定する

ＥＲＡＳＥ？　　　ＹＥＳ

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。

全曲を消す ALL ERASE

停止中に
押す
編集モード画面になります。

2 選び／決定
①「ERASE」を選び、決定する
②「ALL ERASE」を選び、決定する

3 選び／決定
①「YES」を選び、決定する

ＥＲＡＳＥ？　　　ＹＥＳ

②「YES」を選び、決定する

ＯＫ？　　　ＹＥＳ

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、編集が完了して、元の画面に戻ります。（「No Track」が表示されます。）

お知らせ
● カード全曲消去（ALL ERASE）は、本機などで録音した音楽データだけをすべて消去します。画像などのデータは消去されません。

SD カードを初期化する CARD FORMAT

SD カードに記録されている、オーディオ以外のファイルも含むすべてのデータを消去します。また、使用前に初期化（CARD FORMAT）することで、SD カードの状態を、SD オーディオ記録用に最適化します。

1

停止中に
押す
編集モード画面になります。

2 選び／決定
「CARD FORMAT」を選び、決定する

3 選び／決定
①「YES」を選び、決定する

ＦＯＲＭＡＴ？　　　ＹＥＳ

②「YES」を選び、決定する

ＯＫ？　　　ＹＥＳ

●「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、初期化が完了します。
●「No Track」が表示されるまで SD カードを取り出さないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

お願い
初期化すると、本機で録音した音楽データだけでなく、SD に記録されているすべてのデータが消去され、元に戻すことができません。よく確認してから実行してください。

お知らせ
●本機で SD カードを初期化した場合、他の機器で使えないことがあります。
●SD カードの種類により、初期化に時間がかかることがあります。

SD にタイトルを付ける

録音済みの SD にタイトルを付けます。

● 入力できる文字の種類
- 半角カナ
- 半角英数

● タイトルの種類と入力可能文字数
- プレイリスト名　：60 文字
- 曲名　：32 文字
- アーティスト名　：32 文字

①電源を入れる。
②タイトルを付けたい SD カードを入れる。
③セレクターを SD に切り換える。

共通操作

■ 前の画面に戻る：［戻る］を押す
■ 途中で編集を止める：［■］（停止）を押す

お知らせ

● 再生中は、タイトル入力できません。
● ランダム / プログラム設定中（☞ 12、13 ページ）は、タイトル入力できません。

曲のタイトル／アーティスト名を付ける

1 SDタイトルイン　停止中に **押す**

2

① **「TRACK TITLE」を選び、決定する**

TRACK TITLE

② **タイトルを付けたい曲を選び、決定する**

1.Track001

3 ① **曲名を入力する**

（☞ 29 ページ「文字入力のしかた」）
曲名入力完了後、同じ曲のアーティスト名入力画面になります。

② **アーティスト名を入力する**

（☞ 29 ページ「文字入力のしかた」）

「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、タイトル入力が完了し、書き込んだトラックの次のトラックの画面になります。

プレイリストのタイトルを付ける

プレイリストを作成するには（☞ 24 ページ）

1 SDタイトルイン　停止中に **押す**

2 選び　決定

① **「PL TITLE」を選び、決定する**

PL TITLE

② **タイトルを付けたいプレイリストを選び、決定する**

2.Hit chart

3 **プレイリスト名を入力する**

（☞ 29 ページ「文字入力のしかた」）
「カード　ヲ　ヌカナイデ　クダサイ」表示後、タイトル入力が完了し、元の画面に戻ります。

ご参考 SD Title Editor を使う

別売のソフトウェア「SD Title Editor Ver.1.11」を使うと、本機で CD からイッキ録りした SD に対して、タイトル / アーティスト名などの曲情報を自動で入力でき、更に編集も可能です。ただし、SD Title Editor で入力されたタイトルのうち、本機で表示できるのは半角カナ英数に限られます。

必要なもの

● SD Title Editor Ver.1.11
（「パナセンス」でダウンロード購入が可能）
http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html

● SD 挿入口を装備し、インターネットに接続した Windows XP、Vista パソコン（パソコンに SD 挿入口がない場合は USB リーダーライターも準備してください。）

1 **本機で CD からイッキ録り（☞ 22 ページ）した SD カードをパソコンに挿入する**

2 **SD Title Editor を起動して、タイトル情報を取得する**

くわしくは SD Title Editor の取扱説明書をご覧ください。

文字入力のしかた

タイトル入力画面（☞ 24、28 ページ）にした後、入力します。

1 [文字] **押して文字の種類を選ぶ**

半角カナ ←→ 半角英数

2 [1]〜[0] [≧10] **押して文字を選ぶ**

例）「イ」を入力する

[1ア] **2 回押す**

● 「文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字」（☞ 下記）

イ	＜ア＞

3 [◀ 決定 ▶] **押す**

次の文字が入力できる状態になります。

イ █	＜ア＞

● 手順 1 〜 3 をくり返して入力します。

4 [決定] **押す**

入力が完了し、次の画面になります。

■文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

押すたびに下記の文字が順番に表示され、入力できます。

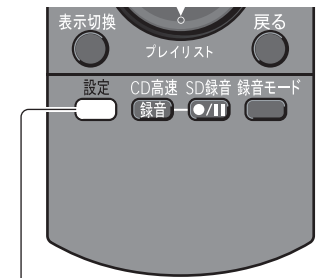
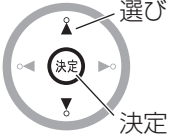
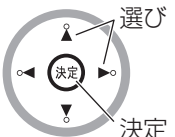
	半角カナ	半角英数（英字 / 数字）
1	アイウエオ ｧｨｩｪｫ	1
2	カキクケコ	abcABC 2
3	サシスセソ	defDEF 3
4	タチツテト ｯ	ghiGHI 4
5	ナニヌネノ	jklJKL 5
6	ハヒフヘホ	mnoMNO 6
7	マミムメモ	pqrsPQRS 7
8	ヤユヨ ｬｭｮ	tuvTUV 8
9	ラリルレロ	wxyzWXYZ 9
0	ワヲン	0
≧10	゛（濁点） ゜（半濁点） 記号（☞ 右記）	記号（☞ 右記）

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力する	[≧10] 数回押す 濁点や半濁点は、表記可能な文字の後ろにだけ入力できます。
記号（☞ 下記）を入力する	[≧10] 数回押す 押すたびに記号が表示されます。
入力した文字を削除、訂正する	[◀ 決定 ▶] 押す ① 押して削除する文字にカーソルを合わせる [消去] ② 押す ③ 新しい文字を入力する（☞ 左記）
文字の間に新しい文字や空白を入れる	[◀ 決定 ▶] 押す 挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、文字を入力する（☞ 左記） 1 文字あけるには、 挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、[≧10] を押して「　」（空白）を選ぶ
入力を途中で止める	[■] 押す ただし、すでに［決定］を押して確定したタイトルは残ります。

■本機で入力できる記号

下記の順で表示されます。

゛※1※2 → ゜※1※2 → ー※2 → 。※2 →
、※2 → 「※2 → 」※2 → ・※2 →
（空白） → ! → " → # →
$ → % → & → ' →
(→) → * → + →
, → - → . → / →
: → ; → < → = →
> → ? → @ → [→
¥ →] → ^ → _ →
` → { → ¦ → } →
~

※ 1 入力が可能なときのみ表示されます。
※ 2 半角カナのときのみ表示されます。

時計を合わせる

準備　電源を入れる。

本機の時計は 24 時間表示です。

設定

押す

システム設定画面になります。

2

選び
決定

「CLOCK ADJUST」を選び、決定する

CLOCK ADJUST

3

選び
決定

① [▲]、[▼] で曜日を選ぶ

② [▶] を押す

③ [▲]、[▼] で時刻を選び、決定する

SUN 0:00

- [▲]、[▼] を押したままにすると、曜日や時刻が連続して変化します。
- 時刻は数字ボタンでも入力できます。
  16 時 5 分の場合：
  [1] → [6] → [0] → [5] と押す
  入力を間違えた場合、[戻る] を押します。
- [決定] を押した時点から、時計がスタートします。

お知らせ

- 時計を合わせると、デモ機能（☞ 5 ページ）は自動的に解除されます。
- 時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したときは、時計を合わせ直してください。

■ 一つ前の画面に戻るには
[戻る] を押す

■ 途中で設定を止めるには
[■]（停止）を押す

■ 時計を確認するには
[時計表示] を押すと、曜日と時刻を表示します。
確認後、[時計表示] を押すと元の画面に戻ります。
- 電源切時でも [時計表示] を押すと表示されます。

おめざめタイマー／

- 設定した曜日の時刻になると、電源が入って指定した音源を再生（おめざめタイマー）または録音（留守録タイマー）し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
- 複数の予約内容を設定して、使い分けることができます。
- おめざめタイマー／留守録タイマーはそれぞれ最大 3 つまで設定ができます。
- 音源が CD/SD のおめざめタイマーは、ランダムプレイ／ 1 曲再生／プログラムプレイ／リピートプレイが可能です。

準備
①電源を入れる。
②時計を合わせておく。（☞ 左記）
③再生する音源（CD など）や、録音用 SD カードを入れる。
④（ラジオの場合）FM/AM のプリセットチャンネルを登録しておく。（☞ 15 ページ）
（留守録タイマーの場合）
⑤録音タイプを選んでおく。（☞ 22、23 ページ）
⑥録音モードを選ぶ。（☞ 21 ページ）

1

タイマー 設定

押す

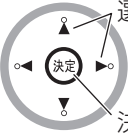
タイマー設定画面になります。

2

選び
決定

タイマーの種類と予約番号を選び、決定する

例）おめざめタイマー

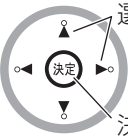
◴ PLAY1 [OFF]

- 「PLAY1」から「PLAY3」まではおめざめタイマー、「REC1」から「REC3」までは留守録タイマーです。どの番号を選んでもかまいません。

3

選び
決定

曜日を選び、決定する

SUN

- 「SUN —> SAT」（毎日）、「MON —> SAT」（月～土）、「MON —> FRI」（月～金）、「SAT, SUN」（土日）の設定も選択できます。

留守録タイマーを使う

4

開始時刻と終了時刻を設定し、決定する

［◀］、［▶］で開始 / 終了時刻を選び、［▲］、［▼］で設定

例）

8：00－>8：30

開始時刻　　終了時刻

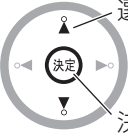
- 数字ボタンでも入力できます。
- 開始時刻から終了時刻までの時間が 2 分以上になるように設定してください。

■ 他のタイマーと動作時刻が重なっているとき

決定すると、「Time Overlap」と一時表示されたあと、時刻設定画面に戻ります。

おめざめタイマー

① **音源と音量を設定し、決定する**

［◀］、［▶］で音源 / 音量を選び、［▲］、［▼］で設定

FM　　VOL＝25

②（FM/AM の場合のみ）

［▲］、［▼］でチャンネルを選び、決定する

留守録タイマー

① **［▲］、［▼］で再生する音源を選び、決定する**

FM－>SD

②（FM/AM の場合のみ）

［▲］、［▼］でチャンネルを選び、決定する

6

「SET」を選び、決定する

◴PLAY1　SET

- 無効にするにはこの画面で「OFF」を選択します。

7

電源

押して電源を切る（電源を切らないと、タイマーが動作しません。）

おめざめタイマーの場合

- 設定した曜日 / 時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は“◴ PLAY”が点滅します。）

留守録タイマーの場合

- 頭切れ防止のため、設定した曜日 / 時刻の少し前になると録音が始まります。（動作中は“◴ REC”が点滅します。）
- 録音中、音量は自動的に「0」になります。（調節することができます。）

■ **設定を最初からやり直す**

［戻る］を押す

■ **途中で設定を止める**

［■］（停止）を押す

（お知らせ）

- 曲やプレイリスト数の多い SD カードに追加録音する場合、録音を開始するまでに時間がかかることがあるため、開始時刻を早めに設定することをおすすめします。
- タイマーは「OFF」にしない限り、設定した曜日 / 時刻に動作します。
- 音源に AUX を選んだ場合は、外部機器側も、同じ曜日 / 時刻に動作するように設定してください。
- 留守録タイマーで録音できるのは、ラジオと外部機器のみです。
- ひとつのタイマーの終了時刻が他のタイマーの開始時刻と同じ場合、先に動作するタイマーは予約設定した終了時刻より 1 分前に終了します。
- 留守録タイマーの開始時刻が他の留守録タイマーの終了時刻と同じ場合、録音の開始が遅れる場合があります。

タイマーの確認などは

■タイマーの動作予約を取り消すには

手順❶のあと、
①手順❷で動作させたくないタイマーを選び、決定する
②手順❻で「OFF」を選び、決定する

■設定したタイマーを選んで動作させるには

手順❶のあと、
①手順❷で動作させたいタイマーを選び、決定する
②手順❻で「SET」を選び、決定する

■設定したタイマーの内容を確認、変更するには

手順❶のあと、
①手順❷で、確認したいタイマーを選び、決定する
②手順❸から順に確認、変更していく
- タイマーを動作させたいときは、タイマーが「SET」になっていることを確認して、電源を切る

■タイマー動作を設定したあとに、再生を楽しむには

①電源を入れ、通常の再生操作をする
②再生後は必ず電源を切る
- 音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

1 スリープ **押す**

S L E E P　　　[O F F]

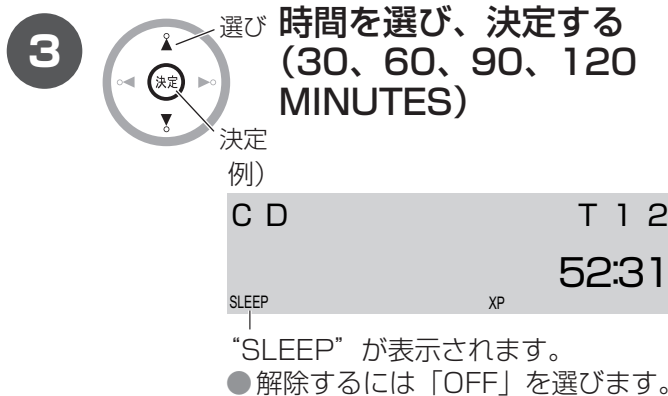
2 決定 **押す**

3 **時間を選び、決定する（30、60、90、120 MINUTES）**

選び　決定

例）

C D　　　T 1 2
52:31
SLEEP　XP

“SLEEP”が表示されます。
● 解除するには「OFF」を選びます。

■ 一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

■ 途中で設定を止めるには
［■］（停止）を押す

■ 残り時間を確かめるには
［スリープ］を押す

S L E E P　　　[　2 9]

（もう一度押すと元の画面に戻ります。）

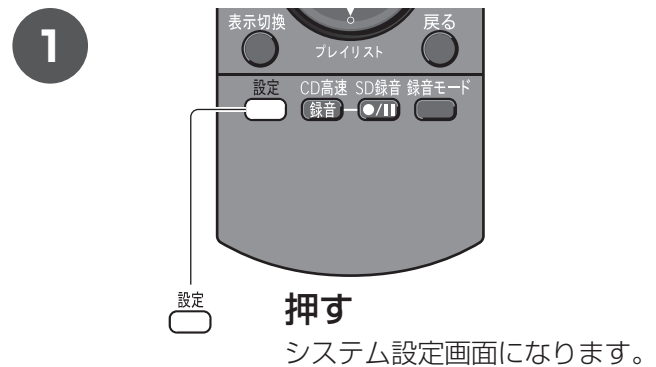
お知らせ
● おやすみタイマーとおめざめタイマー／留守録タイマー（☞ 30 ページ）を組み合わせて使うときは、おやすみタイマーの電源が切れてから、おめざめタイマー／留守録タイマーが動作するように設定してください。

電源の切り忘れを防ぐ

CD/SD の停止中にボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。（AUTO OFF）

1 表示切換　戻る　プレイリスト　設定　CD高速録音　SD録音 ●/II　録音モード

設定 **押す**
システム設定画面になります。

2 選び　決定

① **「AUTO OFF」を選び、決定する**

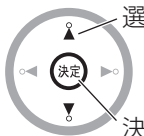
A U T O　　O F F

② **「ON」を選び、決定する**

● 解除するには「OFF」を選びます。
● 決定すると元の画面に戻ります。

■ 一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

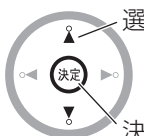
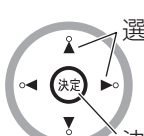
■ 途中で設定を止めるには
［■］（停止）を押す

お知らせ
● 一度設定しておくと、電源を切 / 入してもオートオフ機能（AUTO OFF）が働きます。

音質・音場効果を楽しむ

共通操作

■ 前の画面に戻る：［戻る］を押す
■ 途中で設定を止める：［■］（停止）を押す

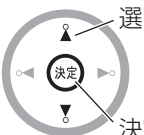
好みの音質を楽しむ　EQ

好みの音質を選ぶことができます。（EQ：イコライザー）

1 押す

2 ①「EQ」を選び、決定する
②好みの音質を選び、決定する

HEAVY：	ロックなど、パンチを効かせるとき
SOFT：	BGMとして聴くとき
CLEAR：	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
VOCAL：	ボーカルにつやを出したいとき
MANUAL：	手動で低域と高域のレベルを調整するとき（☞下記）
FLAT：	音質効果を使わないとき

● 決定すると元の画面に戻ります。

低域／高域を調整する　BASS/TREBLE

バス（低域）とトレブル（高域）のレベル調整ができます。

1 押す

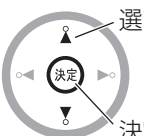
2 ①「EQ」を選び、決定する
②「MANUAL」を選び、決定する

3 バスまたはトレブルのレベルを設定し、決定する

［◀］、［▶］でBASS/TREBLEを選び、［▲］、［▼］でレベルを設定

BAS.　0　TRE.　0

±４段階ずつ調整できます。
● 決定すると元の画面に戻ります。

サラウンド効果を楽しむ　SURROUND

1 押す

2 ①「SURROUND」を選び、決定する
②「SURROUND ON」を選び、決定する

SURROUND　ON

● 解除するには「SURROUND OFF」を選びます。
● 決定すると元の画面に戻ります。

豊かな低音で聴く　D.BASS

低い周波数の重低音を大きくします。

1 押す

2 ①「D.BASS」を選び、決定する
②「D.BASS ON」を選び、決定する

D.BASS　ON

● 解除するには「D.BASS OFF」を選びます。
● 決定すると元の画面に戻ります。

お知らせ
● 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

より自然な音で聴く　RE-MASTER

SD/iPod/AUXの再生時に、より自然な音質にする効果があります。

1 押す

2 「RE-MASTER ON」を選び、決定する

RE-MASTER　ON

● 解除するには「RE-MASTER OFF」を選びます。

お知らせ
●「RE-MASTER ON」に設定していても録音中は効果がありません。

便利な機能

再生時間やタイトルなどの情報を見る

表示切換 ◯　**数回押す**

主な内容
- SD タイトル情報
 （アーティスト名や曲名など）
- 再生経過時間
- 再生中の曲の残り時間
- SD の曲のデータ形式
- SD の録音可能残り時間
- 放送局名

（お知らせ）
- 表示される内容は、現在行っている操作や音源などによって異なります。

表示部の明るさを変える

ディマー　**押す**

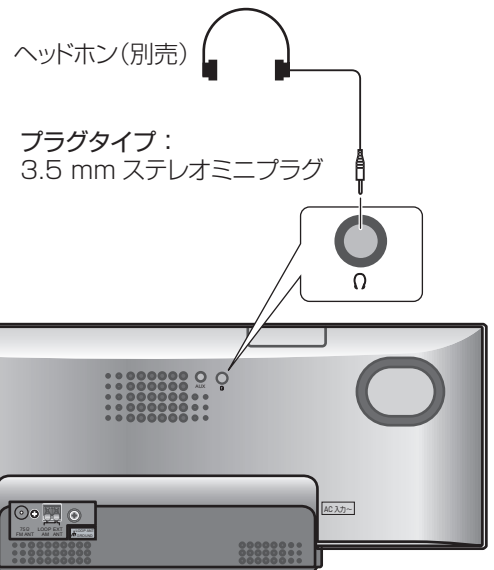
押すたびに
表示部（暗）←→ 表示部（明）

一時的に消音する

消音　**押す**

「Mute」が表示されます。

■解除するには
- もう一度押す
- 音量を調節する
- 電源を切 / 入する

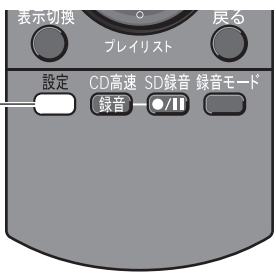
ヘッドホンで聴く

お願い
- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

本機の設定を変える、情報を見る

準備 電源を入れる。

共通操作
■ 前の画面に戻る：[戻る] を押す
■ 途中で設定を止める：[■]（停止）を押す

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときに行います。
お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。
本体側のリモコンモードを切り換えてから、リモコン側を切り換えます。

本体側の切り換え

[設定] を押す

2 [▲]、[▼] で「REMOCON」を選び、決定する

REMOCON　[1]

3 [▲]、[▼] で「REMOTE 2」を選び、決定する

REMOTE 2

4 [▲]、[▼] で「YES」を選び、決定する

リモコン側の切り換え

5 リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [2] を4秒以上押したままにする

設定が終わったら、動作を確認してください。

リモコンの操作ができれば、正しく設定されています。
リモコンが働かないときは、画面に表示されている数字にリモコン側を切り換えてください。
例）「U30 REMOTE 2」と表示された場合、リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [2] を4秒以上押したままにする。

■リモコンモードを「REMOTE 1」に戻すには
本体側：　手順❸で「REMOTE 1」を選び、決定する。
リモコン側：　リモコンの [決定] を押したまま、数字ボタンの [1] を4秒以上押したままにする。

デモ機能を入 / 切する

1 [設定] を押す（☞ 左記）

2 [▲]、[▼] で「DEMO」を選び、決定する

DEMO　[ON]

3 [▲]、[▼] で「ON」または「OFF」を選び、決定する

- 「ON」を選ぶとデモが開始されます。

CD の録音ソース（デジタル / アナログ）を選択する

1 [設定] を押す（☞ 左記）

2 [▲]、[▼] で「CD REC SOURCE」を選び、決定する

CD REC SOURCE

3 [▲]、[▼] で「DIGITAL」または「ANALOG」を選び、決定する

- 「ANALOG」は通常速録音のみで有効です。「ANALOG」を選んでも、高速録音では自動的に「DIGITAL」に戻ります。
- 「ANALOG」を選んでも、録音が終わると自動的に「DIGITAL」に戻ります。
- アナログ録音中の音量は「36」が最大となります。

システムソフトの情報を確認する

1 [設定] を押す（☞ 左記）

2 [▲]、[▼] で「SW VERSION」を選び、決定する

本機のソフトウェアバージョンを表示します。
例）

VERSION 1.00

- 最新バージョンについては下記のホームページでご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/audio/

本機のシステムソフトを更新する

[設定]（☞ 左記）を押して表示される「SW UPDATE」は、今後、性能改善のためシステムソフトの書き換え（更新）が必要になったときのための機能です。
システムソフトの更新に関する情報を受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いします。インターネットでの登録が可能です。
くわしくは、裏表紙をご覧ください。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2009 年 1 月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

■パソコンで SD カードの音楽を再生するためには

●SD オーディオ対応音楽ソフト
- SD-Jukebox（ダウンロード版）
  （下記「パナセンス」でダウンロード購入が可能）
  http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html

●USB リーダーライター（著作権保護機能付き）
- BN-SDCKP3（SD/SDHC/microSD カード用）
- BN-SDCJP3（SD/SDHC/miniSD カード用）

●PC カードアダプター（著作権保護機能付き）
- BN-SDDBP3（SD/SDHC メモリーカード用）
- BN-SDMAAP3（SD/miniSD カード用）
- BN-SDAGP3（SD メモリーカード用）

■イッキ録りした SD オーディオのタイトルを、パソコン上で取得・保存するソフト
- SD Title Editor（ダウンロード版）
  （下記「パナセンス」でダウンロード購入が可能）
  http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html

■外部機器とつなぐには

●オーディオコード
（ステレオミニプラグ～ピンプラグ）
- RP-CAPM3G15（1.5 m）

●オーディオコード
（ステレオミニプラグ～ステレオミニプラグ）
- RP-CAM3G15（1.5 m）

■SD カードで楽しむには

●SDHC メモリーカード		
Class6	● RP-SDV32GL1K	(32 GB)
	● RP-SDV16GL1K	(16 GB)
	● RP-SDV08GL1K	(8 GB)
	● RP-SDV04GL1K	(4 GB)
Class4	● RP-SDM16GL1K	(16 GB)
	● RP-SDM12GL1K	(12 GB)
	● RP-SDM08GL1K	(8 GB)
	● RP-SDM06GL1K	(6 GB)
	● RP-SDM04GL1K	(4 GB)
● SD メモリーカード		
Class6	● RP-SDV02GL1A	(2 GB)
	● RP-SDV01GL1A	(1 GB)
	● RP-SDV512L1A	(512 MB)
Class4	● RP-SDM02GL1A	(2 GB)
	● RP-SDM01GL1A	(1 GB)
Class2	● RP-SDR512L1A	(512 MB)
	● RP-SD256BJ1A	(256 MB)
●microSDHC カード（アダプター付）		
Class4	● RP-SM08GBJ1K	(8 GB)
	● RP-SM04GBJ1K	(4 GB)
●microSD カード（アダプター付）		
	● RP-SM02GBJ1K	(2 GB)
	● RP-SM01GBJ1K	(1 GB)
	● RP-SM512BJ1K	(512 MB)
	● RP-SM256BJ1K	(256 MB)
	● RP-SM128BJ1K	(128 MB)
●miniSD カード（アダプター付）		
	● RP-SS02GBJ1K	(2 GB)
	● RP-SS01GBJ1K	(1 GB)
	● RP-SS512BJ1K	(512 MB)
	● RP-SS256BJ1K	(256 MB)
	● RP-SS128BJ1K	(128 MB)

外部機器のご紹介

■外部機器で SD カードの音楽を再生する

●SD オーディオプレーヤー（D-snap）
- SV-SD870N
- SV-SD950N
- SV-SD850N
- SV-SD800N/400V
- SV-SD770V/710
- SV-SD750V/700
- SV-SD370V/310
  など

●ポータブルテレビ
- SV-ME700※、SV-ME750※
- SV-ME70、SV-ME75

※2009 年 2 月発売予定

●携帯電話
- NTT ドコモ
  P-01A/P-02A/P-03A/P-04A※/P-05A※/P906i/P706ie/P706iμ/P905iTV/P905i/P705i 他

※2009 年 2 月～ 3 月発売予定
- Softbank
  921P/920P/824P/823P
- au
  W61P/W52P/W51P

他の機種については、下記サイトから『オーディオ機器の動作確認状況』の情報を参照ください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/index.html

●カーナビ
CN-HW830D/CN-HW800D
CN-HX1000D/CN-HW1000D
CN-HDS965TD/CN-HDS945TD/CN-HDS915TD
CN-HDS710TD/CN-HDS700TD/CN-HDS700D
使用可能な SD カードの容量は、機種別に制限があります。

●ブルーレイディスク /DVD レコーダー
- DMR-BW930/DMR-BW830/DMR-BW730
- DMR-XW320/DMR-XW120

●ポータブル DVD/SD/CD プレーヤー
- DVD-LX89

■他社製品との互換性

以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。

●「SD オーディオ」対応機器であること
「SD Audio」「SD-Audio」のように記載されている場合もあります。

●AAC（64、96、128 kbps）が再生可能なこと

SD カードの音楽をパソコンで楽しむには

別売ソフトウェア「SD-Jukebox」を使うとパソコンで音楽データの保存・再生などができます。

必要なもの

●SD-Jukebox Ver.6 など

●セキュア（著作権保護機能）対応の SD カード挿入口を装備した Windows パソコン
（パソコンが、SD 挿入口の付いていないものやセキュア対応でないものの場合はセキュア対応の USB リーダーライターも準備してください。）

(お知らせ)

●曲のチェックアウト（パソコンから SD へ音楽データを書き込むこと）の回数には、制限がある場合があります。

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビをつなぎたい	背面の「AUX」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	17
	有線放送をつなぎたい	背面の「AUX」端子に接続します。	
	アナログレコードプレーヤーを接続したい	フォノイコライザー内蔵タイプのプレーヤーなら、背面の「AUX」端子に接続して使用可能です。（機器によってはコネクタ変換が必要） 内蔵していないプレーヤーの場合は、外部にフォノイコライザー(他社品)を接続して背面の「AUX」端子に接続してください。	
SD	SD の録音可能残り時間を知りたい	録音可能残り時間表示になるまで［表示切換］を数回押してください。	34
	録音済み SD に上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。 録音可能残り時間が少ないときは、いらない曲を消去してから録音してください。	26、27
	録音済み SD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	—
	miniSD カード /microSD カード / microSDHC カードを使用できますか？	専用アダプターを装着することで楽しめます。	12
	MMC（マルチメディアカード）を使用できますか？	使用できません。	—
	IC レコーダーで録音した SD カードを本機で再生できますか？	本機では再生できません。SD オーディオフォーマットで記録された、AAC、WMA、MP3 以外は再生できません。 (IC レコーダーを背面の「AUX」端子に接続することで楽しめます。)	—
	SBR 形式で録音された SD は本機で再生できますか？	本機は SBR 形式には対応していません。本機で再生した場合、音質が悪かったり、雑音が発生することがあります。	—
	他社の SD カード機器(携帯型プレーヤー、コンポ、カーオーディオなど)で、本機で録音した SD カードを再生できますか？	SD カードに記録する音楽データのフォーマットが異なる場合は再生できません。他社の SD カード機器の対応可能なフォーマットが「SD オーディオ」規格に準拠しているかどうかをご確認ください。	36
その他	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも 1 つの方法です。	33
	全曲録音できないが、どうすれば？	CD から SD に録音する場合などで、全曲録音できないことがあります。CD など録音元の総再生時間、SD の録音可能残り時間、録音モードを確かめてから録音してください。	—

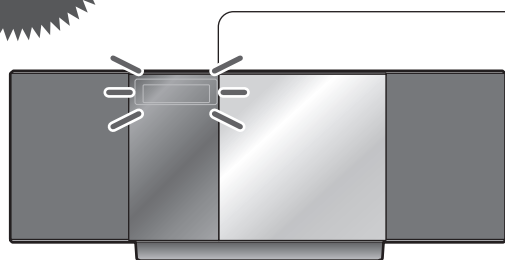
お買い上げ時の音質は…？

お買い上げ時には、EQ（イコライザー）が「HEAVY」(重低音と高音を強調する音質）に、D.BASS が「D.BASS ON」（重低音を強調する音質）に設定されています。

お好みの音質に設定してお楽しみください。
(☞ 33 ページ)

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
Adjust Clock	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。（☞ 30 ページ）
Can't Copy	SCMS（☞ 9 ページ）が記録された CD から SD カードに録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。[設定]を押し、「CD REC SOURCE」→「ANALOG」を選んで通常速録音をしてください。（☞ 35 ページ）
Card Full	SD カードの容量不足です。	不要な曲を消す（☞ 26、27 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
Card Locked	本機では使用できない SD カードです。	SD カードを取り換えてください。
Card Reading	SD カードの情報を読み込んでいます。	「Card Reading」消灯後に操作してください。
		しばらく経ってから操作してください。
CardProtected	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	録音・編集するには、SD カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。
Change Time	開始時刻から終了時刻までの時間が短すぎます。	開始時刻から終了時刻までの時間が 2 分以上になるように設定してください。
Check Card	本機では使用できない SD カードです。または、本機で使用できるよう初期化がされていません。	SD カードの内容をご確認のうえ、本機でカードを初期化する（☞ 27 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
Clear Program	プログラム、ランダム設定中は SD の選曲、録音や編集はできません。	各設定を解除したうえで、操作を行ってください。
Clear Random		
CopyProtected	著作権保護されている CD から SD に録音しようとしました。	著作権保護されている CD からは録音できません。
Dock Unlocked	iPod レバーがきちんとロックされていません。	iPod レバーをきちんとロックしてください。（☞ 18 ページ）
EmergencyStop	異常が発生しました。	SD カードを入れ直し、操作してください。
Illegal Open	電動スライドドアが正常な位置にありません。	一度電源を切ってください。
No Card	SD カードが入っていません。	SD カードを入れてください。
NoDevice	iPod が接続されていません。	iPod レバーを操作して、iPod を接続し、iPod がロックされた状態にしてください。（☞ 18 ページ）
	iPod が操作できない状態です。	iPod の状態を確認してください。
No Disc	CD が入っていません。または、曲の入っていない CD-R などを入れました。	再生できる CD を入れてください。
No Play	再生できない曲です。	その曲をスキップして再生します。
	再生できないディスクです。	再生できるディスク（☞ 8、10 ページ）に取り換えてください。
No Remain	SD カードに空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消す（☞ 26、27 ページ）か、新しい録音用 SD カードに取り換えてください。
No Selected	編集対象が選ばれていません。	[▲]、[▼] で選び、[◀]、[▶] で「＊」マークをつけてから［決定］を押してください。
No Track	SD カードに 1 曲も録音されていません。	（録音にはそのまま使えます。）
Playback Card	再生専用 SD カードに録音・編集しようとしました。	録音用 SD カードに取り換えてください。
Program Full	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	これ以上のプログラムはできません。
REC Retry	CD の情報をうまく読み取れなかったため、自動的に録音し直しています。	表示中は、ボタン操作をしないでください。
Select Over	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作で、これ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。
Stop Playback	この操作を行うには再生を止める必要があります。	再生を止めたうえで、操作を行ってください。
T99 PL Full	プレイリストに登録できる最大曲数（99）を超えようとしています。	不要な曲をプレイリストから除外してください。（☞ 26 ページ）

表　示	意　味	処　理
Time Overlap	動作時刻が他のタイマーと重なっています。	重なっている他のタイマーを「OFF」にしてからタイマー設定してください。（☞ 30 ページ）
Title Full	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TOC Reading	CD の情報を読み込んでいます。	「TOC Reading」消灯後に操作してください。
Track Full	SD カードへの録音は最大 999 曲です。	不要な曲を消す（☞ 26、27 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
	プレイリストに登録できる最大曲数（99）を超えようとしています。	「＊」マークをつけて選んでいる曲を減らしてください。（☞ 24 ページ）
U30 REMOTE 1	リモコンモードの設定が本体と合っていません。	「リモコンモードを変更する」（☞ 35 ページ）でリモコン側を切り換えてください。
U30 REMOTE 2		
"⤮" 点滅	ランダム設定中は数字ボタンで曲を選べません。	ランダムを解除したうえで数字ボタンを操作してください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した SD カードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 5321-9530	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321-9881	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

SDHC ロゴは商標です。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

- 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する	デモ機能を解除してください。	5, 35
	電源が入っているのに何の操作も受け付けなくなった	本体の［電源 ⏻/I］を約 10 秒以上押したままにして電源を切ってください。それでもうまくいかない場合は、下記の操作をして、本機を購入時の設定に戻してください。 ① 一旦電源コードを抜き、本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ② 表示部に「Memory Reset」が表示されるまで本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
	電源が入っているのにリモコンや本体で一部の操作ができない	CD 側の電動スライドドアが開いていて、表示部が見えない状態になっていませんか。 電動スライドドアを閉めてから使用してください。	—
	再生中に「ブーン」という音がする	●接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。電気器具を本機からできるだけ離してください。 ●電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
	トラック分割が設定通りに動作しない	トラック分割は、録音音源（FM/AM/AUX/iPod）ごとに設定できます。録音したい音源を選んでからトラック分割の設定をしてください。	19, 22, 23
CD	●CD を入れても、表示部が変わらない ●再生ボタンを押しても再生が始まらない	規格外の CD を使用していませんか。	8
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に露付きが生じることがあります。 約 1 時間待ってから使用してください。	—
	特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	8
	SD への高速録音時に音飛びやノイズが記録される	●ディスクの表面に傷が付いている場合は、CD を交換してください。 ●ディスクに指紋がついている場合は、柔らかい布でふいてください。 ●通常速での録音を行ってみてください。	—
	CD-R/CD-RW から録音できない	CD-R/CD-RW の記録状態によっては、録音できないことがあります。	—
	●録音中に音量が上がらない ●録音中に音量が下がる	一時停止状態から録音すると、音量は「36」が最大となります。	—
	電動スライドドアが正しく閉まらない	電源を入れ直してください。	—
SD	パソコンに SD カードを入れたのに動かない	パソコンの SD 挿入口が「著作権保護機能」対応でない場合は、別売の USB リーダーライターなどを準備してください。	36
	SD を他のプレーヤー、携帯電話やパソコンで再生できない	再生機器が「SD オーディオフォーマット」に対応していますか。	9
	再生、録音、編集、タイトル入力ができない	SD カードは正しく入っていますか。	12
		SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。解除しないと、録音、編集、タイトル入力ができません。	9
		SD カード以外のカードを入れていませんか。	9
ラジオ	●FM 放送や AM 放送がうまく受信できない ●雑音、ひずみが多い ●“ST”が点滅する	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	5
		アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
		アンテナ線と電源コードをできるだけ離してください。	—
		送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。	16
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。 各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—
リモコン	リモコン操作ができない	乾電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。	4
		新しい乾電池と交換してください。	4
		本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっている場合は、リモコン側のリモコンモードを本体と合わせてください。	35
	●本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する ●他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。	35
その他	iPod を挿入しても、認識されない	●iPod が対応している機種かどうか、確認してください。 ●iPod の状態を確認してください。	19

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

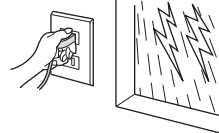
異常があったときには、電源プラグを抜く

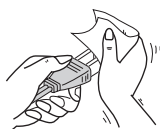
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

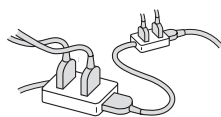
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

SD カードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

電池は誤った使いかたをしない

●指定以外の電池を使わない
●乾電池は充電しない
●加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
●⊕と⊖を針金などで接続しない
●金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
●⊕と⊖を逆に入れない
●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
●被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

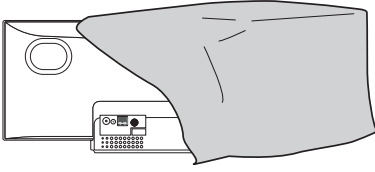
電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
- 背面の通気孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

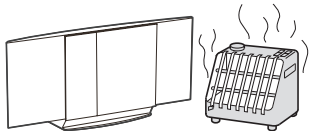
屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

●高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電動スライドドアに指をはさまれないようにする

指に注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

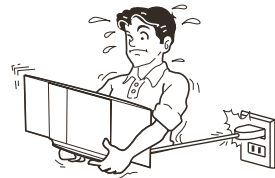
本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスク、カードやiPodは、保護のため取り出しておいてください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このコンパクトステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

40ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ご連絡いただきたい内容			
製品名	コンパクトステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-HC4	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

仕様

アンプ部

実用最大出力 (両 CH 動作) (JEITA, 6 Ω)	40 W (20 W + 20 W)
入出力端子	ヘッドホン端子： ステレオミニ（3.5 mm） 適合ヘッドホンインピーダンス：16 ～ 64 Ω AUX： ステレオミニ（3.5 mm） iPod 端子： iPod 専用端子

FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

CD 部

サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	795 nm
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	測定限界以下
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA

SD 部

サンプリング周波数（AAC）	44.1 kHz（SP、XP）/32 kHz（LP）
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
圧縮 / 伸張方式	SD オーディオ再生：AAC/MP3/WMA 方式 SD オーディオ録音：AAC 方式

スピーカー部

形式	1 ウェイ 1 スピーカーシステム パッシブラジエーター型 フルレンジ： 6.5 cm × 2 コーン型 パッシブラジエーター： 8 cm × 4
インピーダンス	6 Ω
防磁設計	防磁なし

総合

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	30 W
寸法(幅×高さ×奥行)	500 mm × 195 mm × 102.5 mm
本体厚み最薄部	69 mm
質量	約 3.0 kg
許容動作温度	0 ℃～ 35 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 %（結露なきこと）
CD → SD 録音速度	最大 8 倍速

電源切（スタンバイ※）時の消費電力：約 0.08 W

※ デモ機能切、iPod 非充電時

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

さくいん

CLUB Panasonic　ご愛用者登録について

「ご愛用者登録」のご案内

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。
※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典１	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
ご登録特典２	**商品情報をスムーズに入手** Ｑ&Ａや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典３	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

ご登録手順　下記のどちらかを選んでください。

パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

http://club.panasonic.jp/

携帯電話からの登録方法

1 二次元バーコードでアクセス

2 次のアドレスにアクセスしてください。

http://mobile.club.panasonic.jp/

※携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■お問い合わせ先：CLUB Panasonic事務局（club-info@panasonic.jp）

愛情点検

長年ご使用のコンパクトステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物がはいった
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）	販 売 店 名	☎（　　）　－	品　　番	SC-HC4
	お 客 様 ご 相 談 窓 口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町１番15号

RQT9427-2S
H0209AY2039